

長野市  
アンケート調査報告書  
(当事者)

集計報告書

平成 27 年 9 月  
長野市



## 目次

調査概要 .....	1
調査の目的.....	3
調査の概要.....	3
この報告書の見方.....	3
当事者調査結果 .....	5
～ あなた自身（障害等のあるご本人）のことについて ～.....	7
～ 福祉サービスについて ～.....	14
～ 生活の状況について ～.....	18
～ 就労について ～.....	24
～ 身の回りのことについて ～.....	28
～ 情報収集について ～.....	31
～ 相談ごとについて ～.....	34
～ 外出について ～.....	36
～ 地域とのかかわりについて ～.....	38
～ 今後の生活について ～.....	43
～ 長野市の施策について ～.....	45
～ 権利擁護について ～.....	49
～ 【参考】平成 12 年、平成 22 年実施アンケート調査との比較 ～.....	51



# 調査概要

---



## 調査の目的

長野市では現在、障害のある人の生活のさらなる向上をめざし、平成 23 年度に策定した「長野市障害者基本計画」（10 カ年計画）の中間見直しを進めています。本アンケート調査は、計画を策定するうえでの基礎資料として活用するため、住民の方の意識・意見を把握することを目的に実施したものです。

## 調査の概要

- 調査対象：  
当事者アンケート：3,500 人（無作為抽出）  
\* 障害者手帳、障害福祉サービス及び自立支援医療受給者証をお持ちの方  
一般アンケート：市民 1,000 人（無作為抽出）
- 調査期間：2015 年 6 月 25 日から 7 月 5 日
- 調査方法：郵送配布・郵送収集

- 配布・回収状況：

	配布数	回収数	回収率
当事者	3250 票	2068 票	63.6%
当事者（子ども）	250 票	171 票	68.4%
一般	1000 票	575 票	57.5%
障害者団体	11 票	7 票	63.6%
事業所	60 票	38 票	63.3%

## この報告書の見方

この報告書の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を 100% として算出し、本文及び図表の数字に関しては、全て小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記します。このため、全ての割合の合計が 100% にならないことがあります。また、複数回答の設問では、全ての割合の合計が 100% を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることを表します。
- 一部のグラフでは 5 以下の数値を表示していません。





## 当事者調査結果

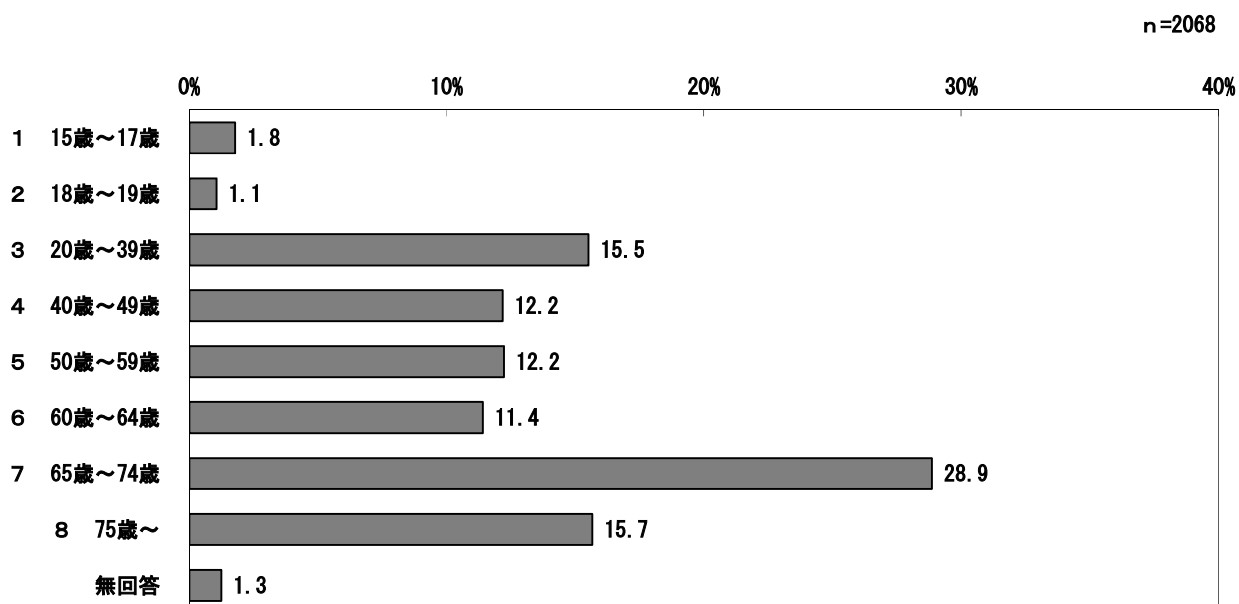
---



## ～ あなた自身（障害等のあるご本人）の～

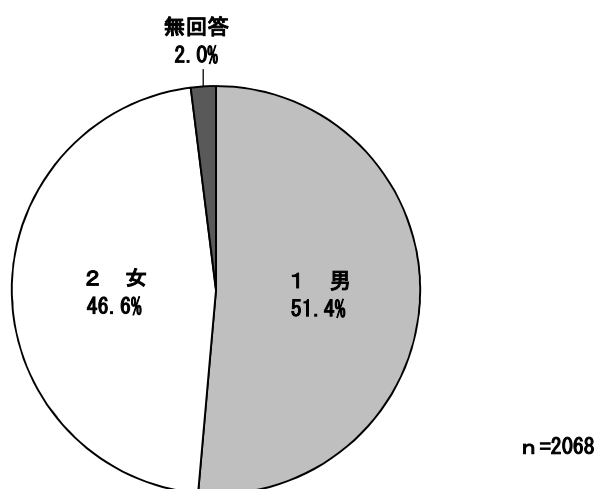
問1 あなたの年齢は。（平成27年4月1日現在）

「7 65歳～74歳」が28.9%で最も多く、次いで「8 75歳～」が15.7%、「3 20歳～39歳」が15.5%、「4 40歳～49歳」及び、「5 50歳～59歳」が12.2%となっています。



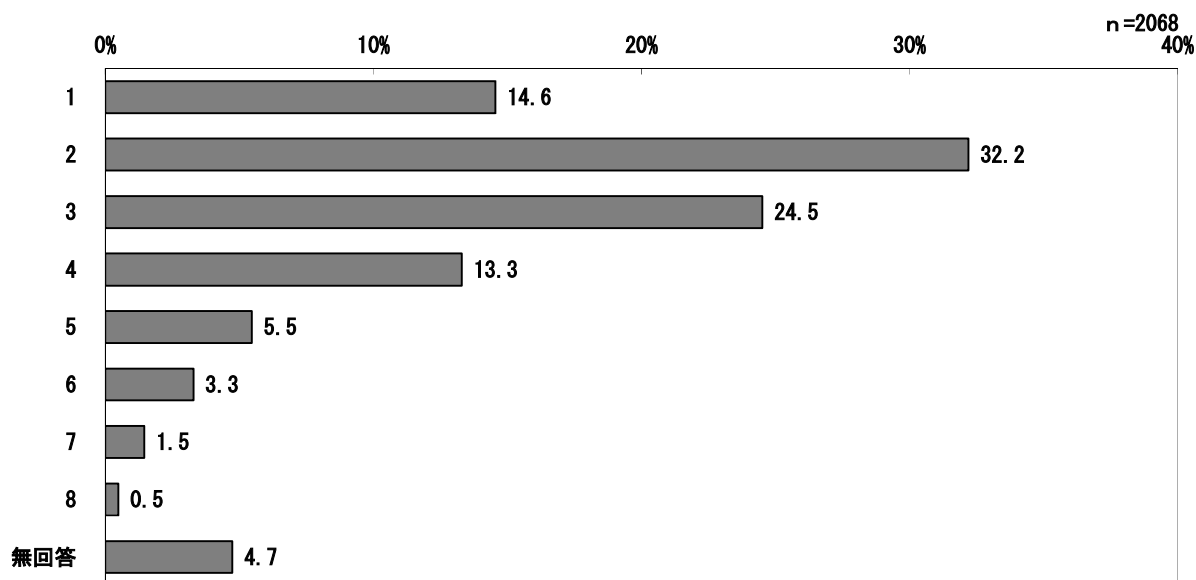
問2 あなたの性別は。

「1 男」が51.4%、「2 女」が46.6%となっています。



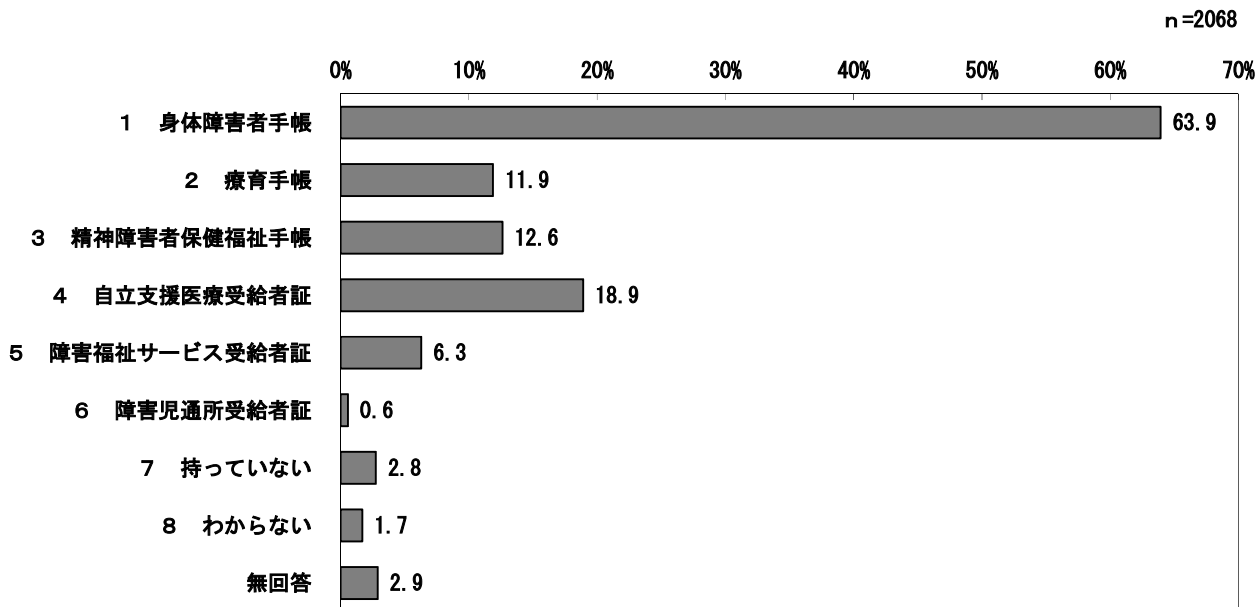
問3 あなたを含めて、あなたが一緒に住んでいる家族の人数は何人ですか。

「2人」が32.2%で最も多く、次いで「3人」が24.5%、「1人」が14.6%、「4人」が13.3%、「5人」が5.5%となっています。

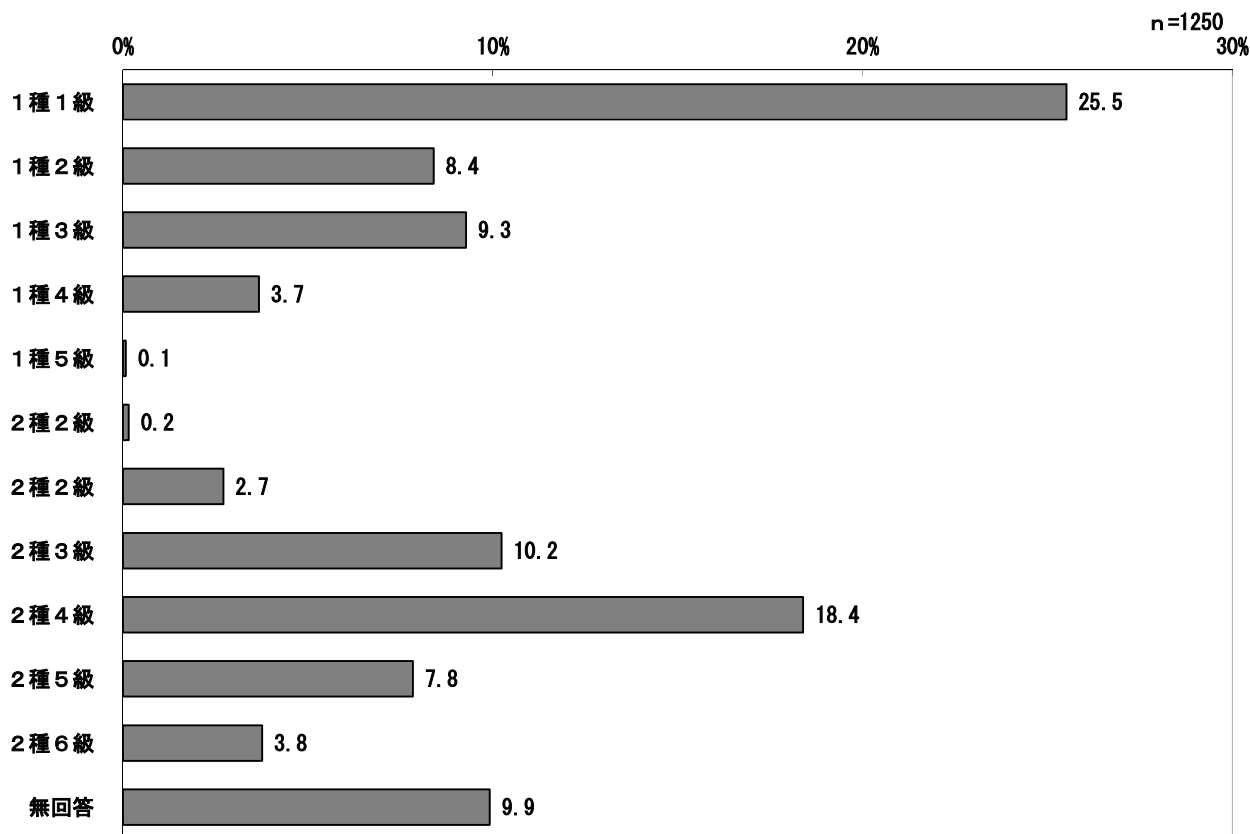


問4 あなたは次の手帳または受給者証をお持ちですか。

「1 身体障害者手帳」が63.9%で最も多く、次いで「4 自立支援医療受給者証」が18.9%、「3 精神障害者保健福祉手帳」が12.6%、「2 療育手帳」が11.9%、「5 障害福祉サービス受給者証」が6.3%となっています。

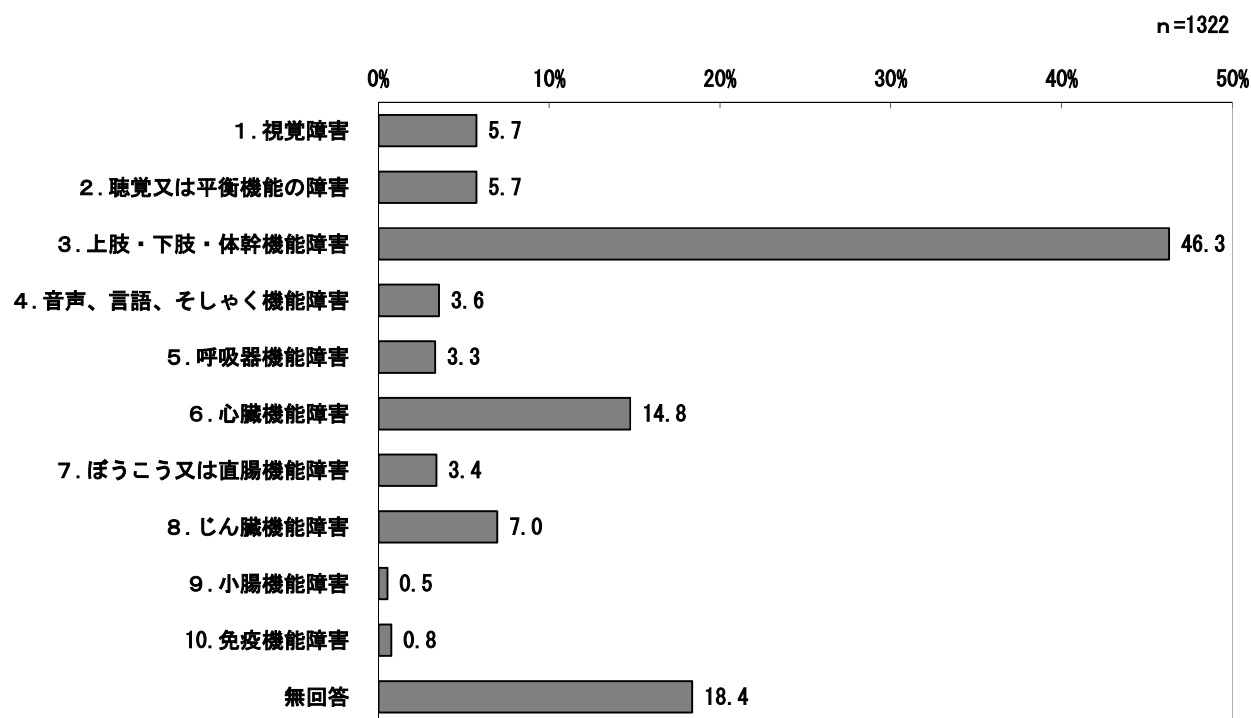


①種別・等級

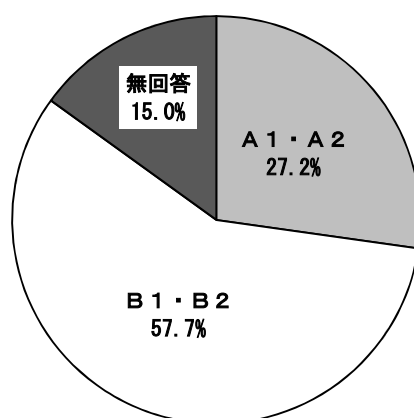


②障害の種別

「3. 上肢・下肢・体幹機能障害」が46.3%で最も多く、次いで「6. 心臓機能障害」が14.8%、「8. じん臓機能障害」が7.0%、「1. 視覚障害」及び「2. 聴覚又は平衡機能の障害」が5.7%となっています。

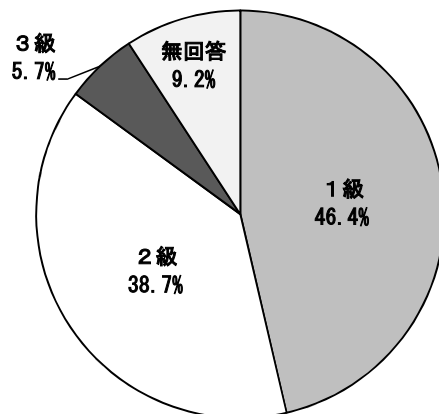


2-療育手帳 判定



n=246

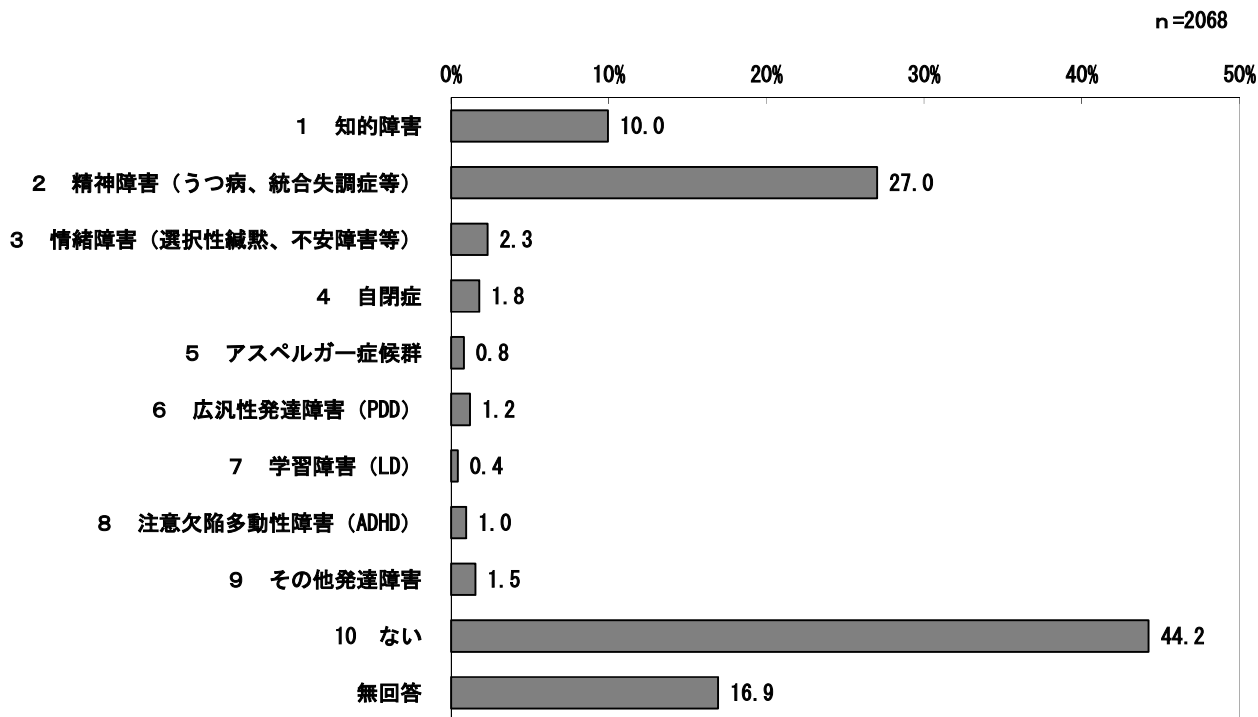
3-精神障害者福祉手帳 等級



n=261

問5 あなたは、以下の事柄について医師の診断（疑い含む）を受けていますか。

「10 ない」が44.2%で最も多く、次いで「2 精神障害（うつ病、統合失調症等）」が27.0%、「1 知的障害」が10.0%、「3 情緒障害（選択性緘黙、不安障害等）」が2.3%、「4 自閉症」が1.8%となっています。

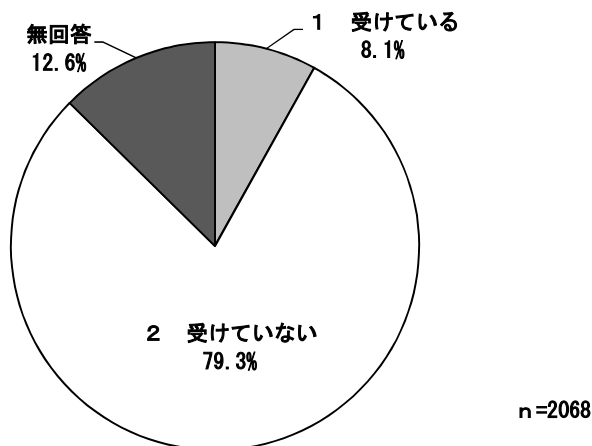


●主な「その他」記入: 僧帽弁幕症による自己身辺制限の心臓機能障害／高次脳機能障害／精神発達遅滞／など

問6 あなたは難病の認定を受けていますか。

※難病とは、関節リウマチや脊髄性筋萎縮症などの治療法が確立していない疾病その他の特殊の疾病をいいます。

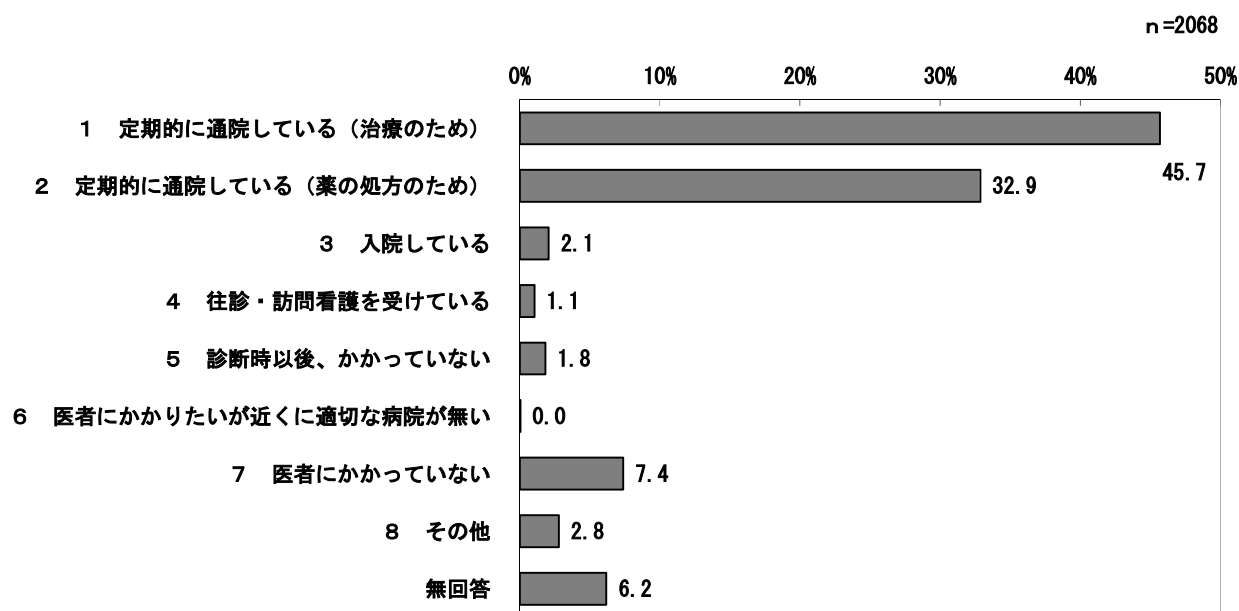
「1 受けている」が8.1%、「2 受けていない」が79.3%となっています。





問7 あなたは現在、医療機関等にかかっていますか。

「1 定期的に通院している（治療のため）」が45.7%で最も多く、次いで「2 定期的に通院している（薬の処方のため）」が32.9%、「7 医者にかかっていない」が7.4%、「8 その他」が2.8%、「3 入院している」が2.1%となっています。

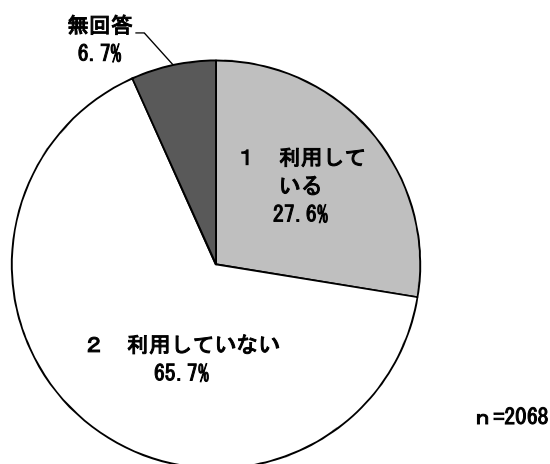


●主な「その他」記入: 定期健診のため定期的に通院／リハビリのため／歯医者に通院／施設入所／など

## ～ 福祉サービスについて ～

問8 あなたは現在、福祉サービスを利用していますか。

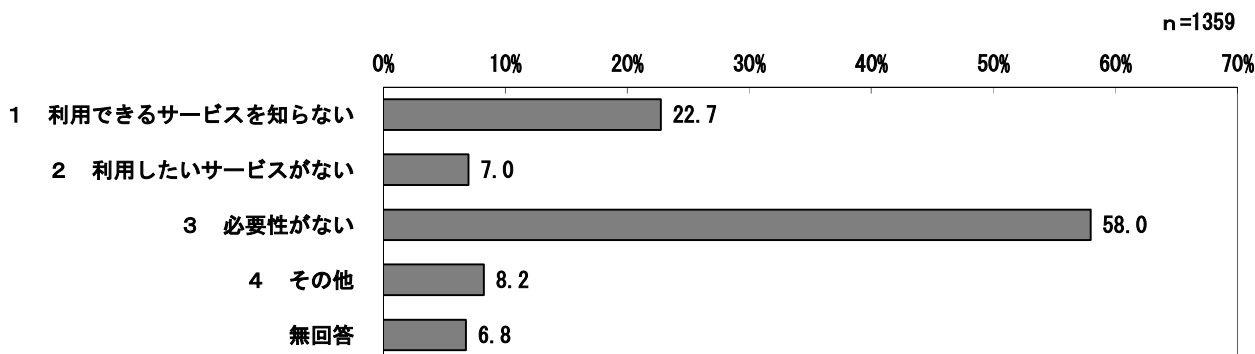
「1 利用している」が27.6%、「2 利用していない」が65.7%となっています。



(問8で1を選んだ方に)

問8-1 利用していない理由は何ですか。

「3 必要性がない」が58.0%で最も多く、次いで「1 利用できるサービスを知らない」が22.7%、「4 その他」が8.2%、「2 利用したいサービスがない」が7.0%、「無回答」が6.8%となっています。

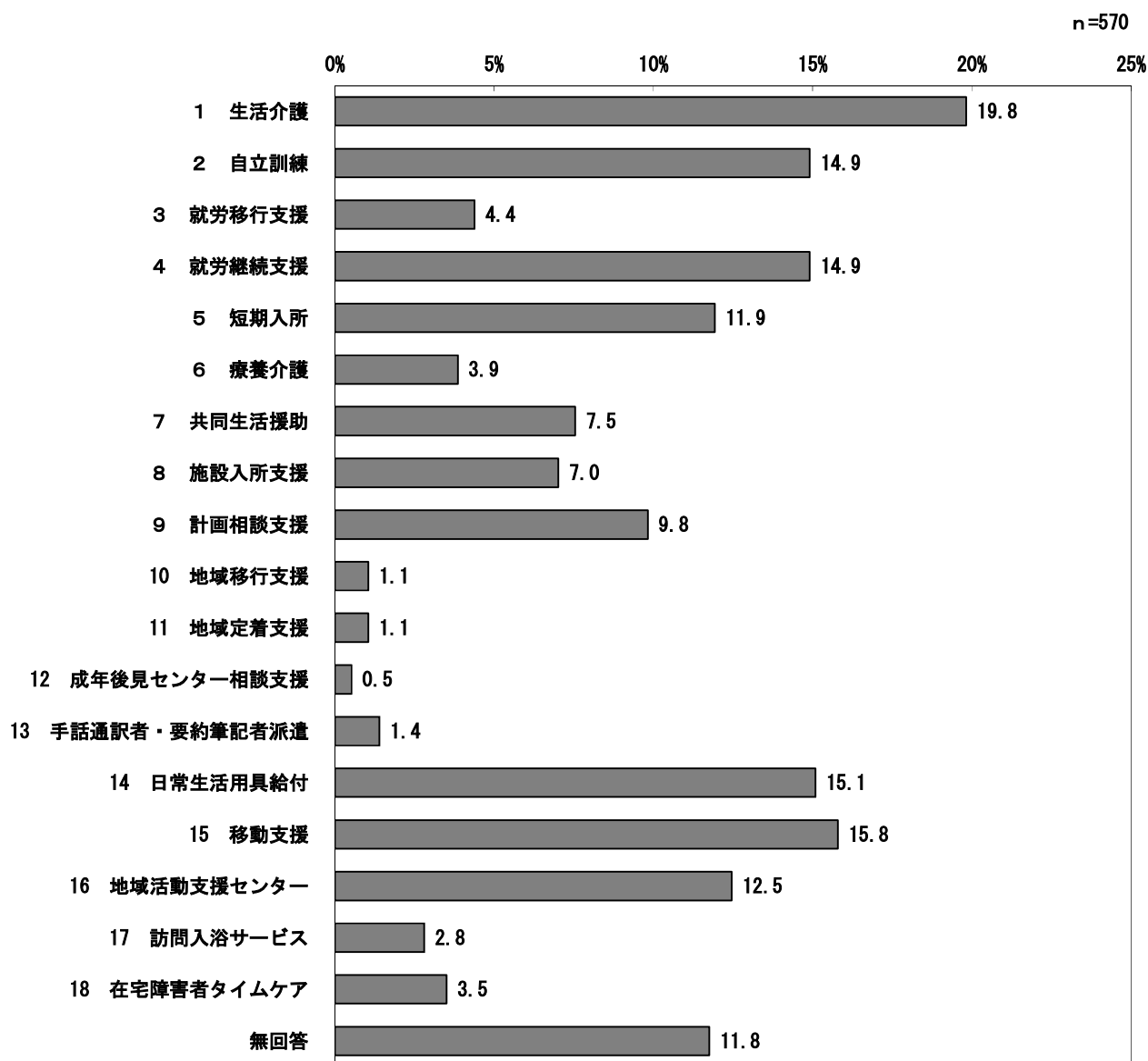


●主な「その他」記入: いまのところ自分で何とかできる／家族(知人)に頼める／介護サービスを受けているため／入院中のため／など

(問8で1を選んだ方に)

問8-2 利用しているサービスを選んでください

「1 生活介護」が19.8%で最も多く、次いで「15 移動支援」が15.8%、「14 日常生活用具給付」が15.1%、「2 自立訓練」及び、「4 就労継続支援」が14.9%となっています。



問9 現在、福祉サービスで困っていることや悩んでいることがありますか。

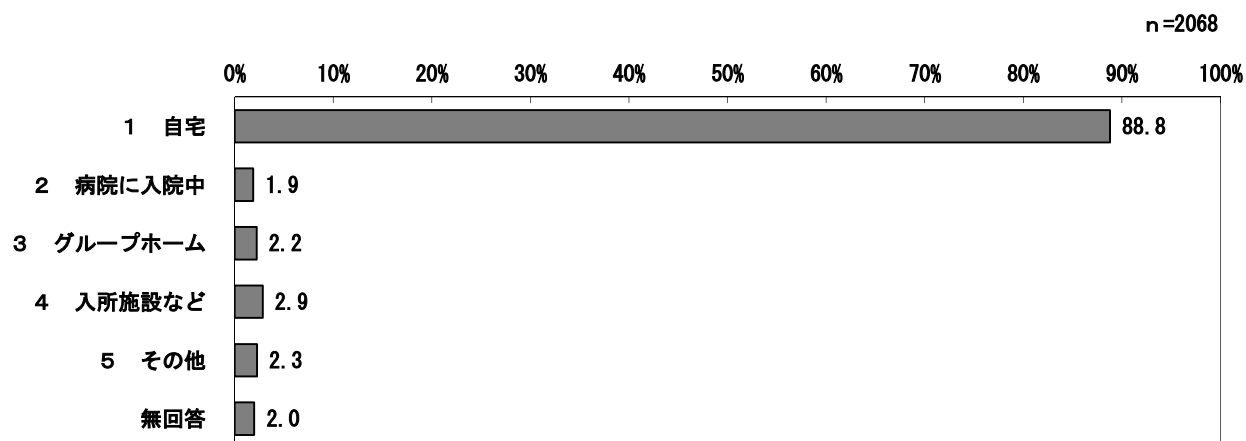
	件数	主な意見
理解がない	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉に気を付けてほしい</li> <li>補聴器による生活の不便さ</li> <li>施設の支援者に理解がない</li> <li>健常者の理解不足によるいじめ</li> <li>若くてもヘルパーを必要としている</li> <li>障害の種類</li> </ul>
差別を感じる	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>デイサービス職員の態度</li> <li>他のろう者から嫌味を言われた</li> <li>職員の上からの発言</li> <li>難病患者と指定されない格差</li> </ul>
相談支援	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの事が出来なくなったときの相談先</li> <li>病院の送迎時に手伝ってくれる先</li> <li>サービスをどのように活用したらいいか</li> <li>入所できる施設</li> <li>自立が難しくなったとき</li> <li>自分が難病患者かどうか</li> <li>職員が忙しいので相談できない</li> </ul>
福祉サービス	68	<ul style="list-style-type: none"> <li>移動タクシーを希望</li> <li>グループホームを増やしてほしい</li> <li>支援センターの職員不足</li> <li>軽い等級のサービス範囲の狭さ</li> <li>手続きの遅さ</li> <li>タクシーの無料券を発行してほしい</li> <li>ショートステイを連泊したい</li> <li>サービス手続きの複雑さの改善</li> <li>土日に入浴サービスを利用したい</li> <li>車椅子のレンタルの不便さ</li> <li>通所がどこもいっぱい</li> </ul>
医療との連携	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>カウンセリングを受けたいが無料がない</li> <li>グループホームでは医療的な事サポートがない</li> <li>診察費の立て替え精算が不便</li> <li>薬局が決まった所以外で処方してくれない</li> <li>医療費の高齢者負担の増加</li> </ul>
経済的支援	32	<ul style="list-style-type: none"> <li>1割負担が生活を苦しめている</li> <li>親が支払う金額が多くてたいへん</li> <li>訓練手当より交通費のほうが高くつく</li> <li>福祉サービスが高額で利用できない</li> <li>生活費やローン返済でたいへん</li> <li>医療費2割負担がづらい</li> <li>通院費が高額</li> </ul>
生活支援	33	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人になった時に不安</li> <li>介護が必要になったとき支援してくれるのか</li> <li>自分のことができなくなったときの支援</li> <li>ゴミ出し、雪かきが出来なくなったとき</li> <li>頭が重い、はっきりしない</li> <li>歩行困難</li> </ul>
余暇の支援	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みなどをともに過ごしてくれるボランティア、学生の紹介</li> <li>休日などで障害者が出かけたいとこに家族が都合のつかないとき</li> <li>土日利用するところが近くにない</li> </ul>
運動施設	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動したくても施設が受け入れてくれない</li> </ul>

	件数	主な意見
日中活動	1	・ 同じ年代の人がいなくて支援センターに行っても楽しくない
子育て、教育	4	・ 子育てへの支援が欲しい ・ 子どもの将来のこと
就労	19	・ 就労移動支援に就労できない ・ 知的障害者にも仕事をあっせんしてほしい ・ したい仕事ができない ・ 企業とのかけはしがない ・ 作業場での人間関係がうまくいかない ・ 仕事がない ・ 仕事に就けない ・ 賃金が安すぎる ・ 紹介される求人が少ない
ユニバーサルデザイン	3	・ 下肢障害者は階段の上り下りがたいへん ・ エレベーター、エスカレーターを設置
移動支援	15	・ 自宅までの送迎のみのサービス ・ 送迎の時間が定まらない ・ 福祉バスが希望の日時に利用できない ・ タクシーの予約制が利用先の帰りに予測して出来ない ・ 「今日でかけたい」と思ったときに対応してもらえない
防犯・防災	2	・ 個人情報管理徹底
その他	27	・ 自宅に帰りたい ・ 入居している施設がいつまで利用できるか不安 ・ ヘルパーを買い物に頼んでも時に必要な食材が不足している ・ 老人ホームにいけない ・ やる気がでなくて困る ・ 路上の駐車スペースを増やしてほしい ・ ケアマネージャーともめた
計	275	

## ～ 生活の状況について ～

問 10 現在の生活の場所(寝起きをしている場所)はどこですか。

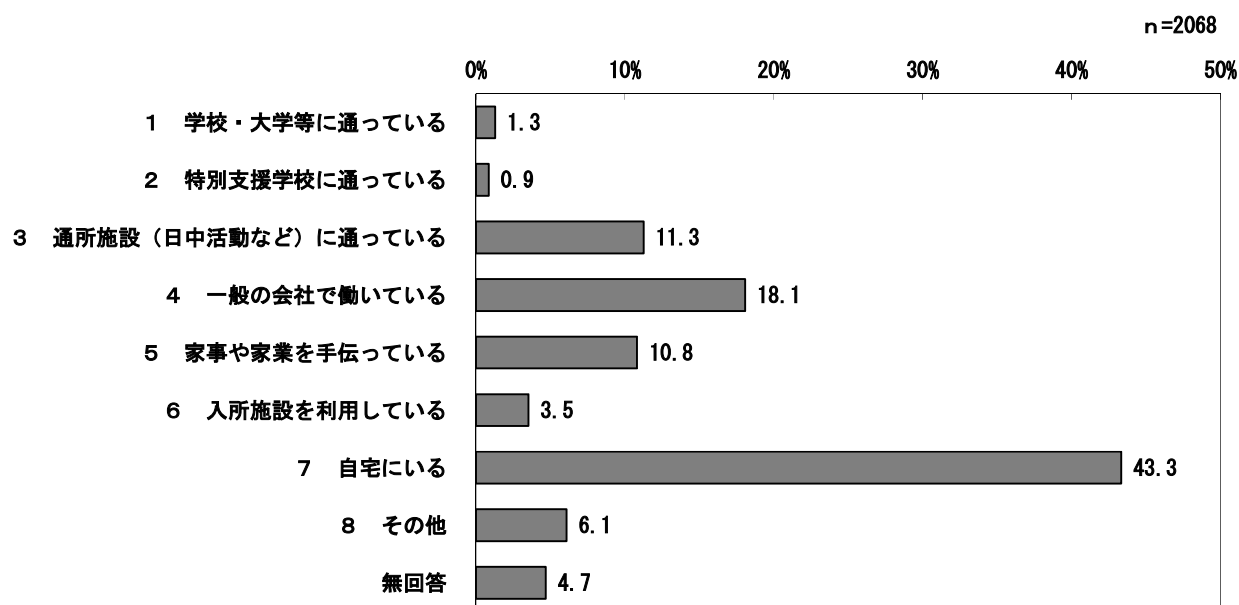
「1 自宅」が 88.8%で最も多く、次いで「4 入所施設など」が 2.9%、「5 その他」が 2.3%、「3 グループホーム」が 2.2%、「2 病院に入院中」が 1.9%となっています。



●主な「その他」記入: 賃貸住宅(借家)／親戚の家／会社の寮／県営住宅／一人暮らし／など

問 11 現在の日中の主な活動状況についてお聞きします。

「7 自宅にいる」が 43.3%で最も多く、次いで「4 一般の会社で働いている」が 18.1%、「3 通所施設（日中活動など）に通っている」が 11.3%、「5 家事や家業を手伝っている」が 10.8%、「8 その他」が 6.1%となっています。

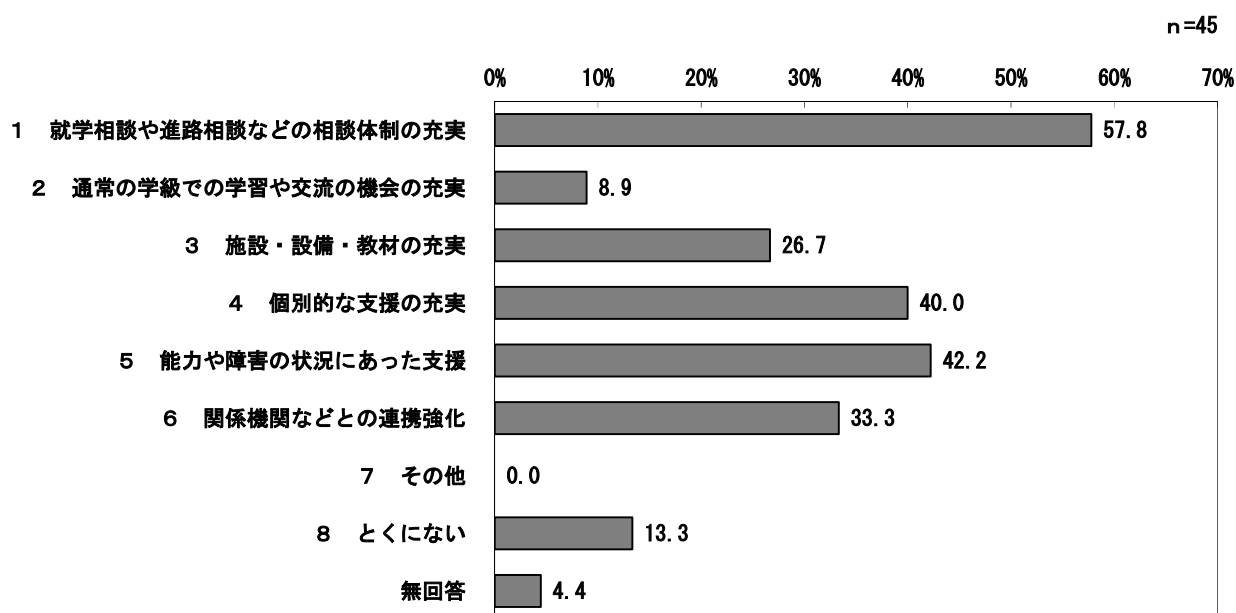


●主な「その他」記入：自営業で働いている／アルバイト、パートで働いている／デイサービスを利用している／家事をしている（主婦を含む）／農業を手伝っている／など

(問 11 で 1～2 を選んだ方に)

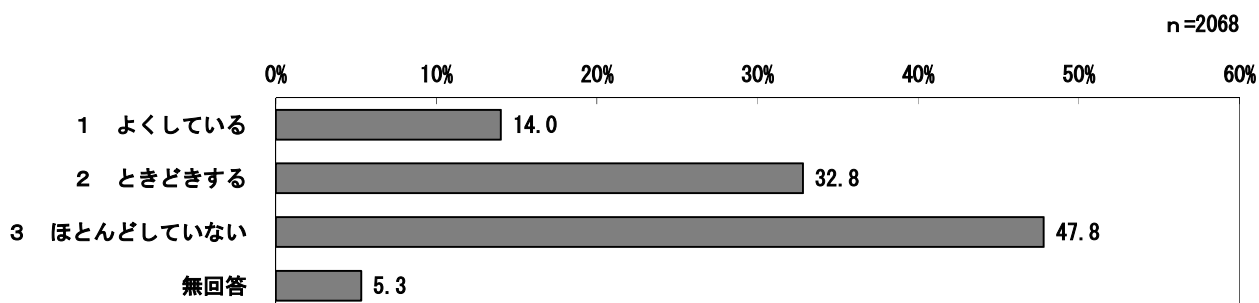
問 11-1 通学先に望むことはどのようなことですか。

「1 就学相談や進路相談などの相談体制の充実」が 57.8%で最も多く、次いで「5 能力や障害の状況にあった支援」が 42.2%、「4 個別的な支援の充実」が 40.0%、「6 関係機関などとの連携強化」が 33.3%、「3 施設・設備・教材の充実」が 26.7%となっています。



問 12 スポーツ、レクリエーション、趣味などの活動はしていますか。

「3 ほとんどしていない」が 47.8%で最も多く、次いで「2 ときどきする」が 32.8%、「1 よくしている」が 14.0%となっています。

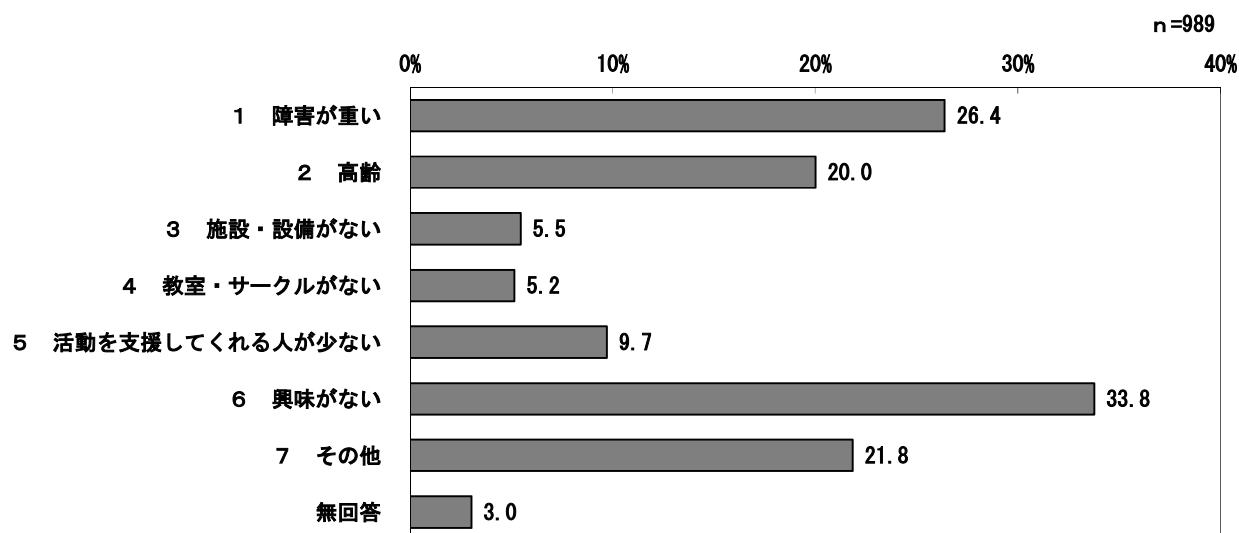




(問 12 で 3 を選んだ方に)

問 12-1 活動をしていない理由は何ですか。

「6 興味がない」が 33.8%で最も多く、次いで「1 障害が重い」が 26.4%、「7 その他」が 21.8%、「2 高齢」が 20.0%、「5 活動を支援してくれる人が少ない」が 9.7%となっています。



●主な「その他」記入: 経済的、金銭的に余裕がない／スポーツ禁止(運動すると症状がでる等)／家業(家事)で手いっぱい／手足が不自由／時間がない、忙しい／気力、意欲がわからない／人間関係がきらい／など

問 13 現在、日中の活動で困っていることや悩んでいることがありますか。

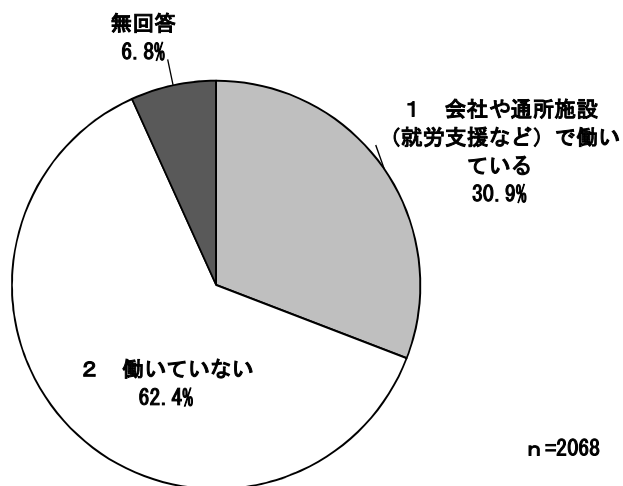
	件数	主な意見
理解がない	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害があるように理解してほしい</li> <li>・周囲の理解</li> <li>・言葉が不自由のため会話が困る</li> <li>・施設指導員の理解が足りない</li> <li>・自閉症の支援対応がなかなか思うようにいかない</li> </ul>
権利擁護・差別	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者用駐車スペースが埋まっている</li> <li>・アパートに身体障害者用の設備がない</li> <li>・公園や買い物先での障害者用駐車スペースがない</li> <li>・視覚障害者が差別的な言動を受けることがある</li> <li>・体調行動への気遣いのなさ</li> </ul>
相談支援	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな手続きがうまくできない</li> <li>・どうすれば統合失調症がよくなるのか</li> <li>・ひきこもりになって困っている、悩んでいる</li> <li>・仕事の負担が大きい相談できる人がいない</li> <li>・些細なことを話し合える相手がいない</li> <li>・相談できる人がいなくて孤独感を感じる</li> </ul>
福祉サービス・情報提供	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当職員はもっと視野を広げてほしい</li> <li>・タクシーにできるだけ乗りたい</li> <li>・プールに連れて行ってもらえるサービスがほしい</li> <li>・近くに良い施設がない</li> <li>・道が狭く自宅に救急車が入れない</li> <li>・車いすか小さい車を借りたい</li> <li>・庭の草むしりをしてほしい</li> <li>・篠ノ井に地域活動支援センターをつくってほしい</li> <li>・会話をスピーディーに文字化するタブレットがほしい</li> <li>・回覧板や広報でお知らせをしてほしい</li> </ul>
医療関係	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師等が忙しそうなのでお願いがしづらい</li> <li>・長野には体調を相談できる医療機関がない</li> <li>・排便障害のため退院できずにいる</li> </ul>
リハビリステーション	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でリハビリしているが、できているかわからない</li> <li>・リハビリを受けられる施設に入所したい</li> </ul>
経済面	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お金がない</li> <li>・車検が支払えず軽トラに乗れない</li> <li>・障害者年金が低すぎる</li> <li>・生活費が足りない</li> <li>・年金生活で困っている</li> </ul>

	件数	主な意見
生活面	123	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 買い物が困難</li> <li>・ 畑仕事をしたいが腰痛がある</li> <li>・ 日中一人でいることが多いが、体調が悪くなったときに援助してほしい</li> <li>・ 単独で外出ができない</li> <li>・ 水分補給が大変</li> <li>・ 重いものが持てない</li> <li>・ 耳が不自由なので大勢のなかに入れない</li> <li>・ 歩くことがだんだん難儀になってきている</li> <li>・ 補聴器を使用しているが、電話が聞き取りづらかったり不便を感じる</li> </ul>
家族	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢の親の世話をしなくてはならず、自分の障害のケアができない</li> <li>・ 妻が知的か認知障害でコミュニケーションが取れずイライラする</li> <li>・ 主人の介護</li> <li>・ 実母がデイサービス等を拒むので非常に困る</li> <li>・ 父親が認知症になり、世話がたいへんで自分の治療ができない</li> </ul>
日中活動	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害のある人たちだけのサークルが近くにほしい</li> <li>・ スポーツしたいけどなかなかできない</li> <li>・ 気軽に失語症の仲間と集まれる場所があればいい</li> <li>・ ときどき話し相手がほしい</li> <li>・ 地域住民と活動をともにすることが非常に難しい</li> <li>・ 土日をどう活動するか</li> </ul>
子育て、教育	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若い人向け、子育て世代向けのサークルがあるといい</li> <li>・ 校内でも相談できる先生、福祉事業所でも子ども自身が相談できるスタッフが少ない</li> <li>・ 放課後デイサービスの手続きが面倒</li> </ul>
就労	38	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ストレス過多で感情コントロールが出来ず、職場に理解してもらえない</li> <li>・ 働ける場所が見つからない</li> <li>・ 職場でひとりでもいいので理解のある人がほしい</li> <li>・ 求人で45歳以上がほとんどない</li> <li>・ 工賃がもう少しほしい</li> <li>・ 朝早く出勤ができないので労働時間が短く、賃金も安い</li> </ul>
ユニバーサルデザイン	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音声による信号機がない</li> <li>・ 外出先に車いす、トイレがない</li> <li>・ エレベーターを設置してほしい</li> <li>・ 洋式トイレを増やしてほしい</li> <li>・ バスのステップが高くて不便</li> </ul>
移動手段	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出かけたくても移動手段がない</li> <li>・ グルリン号のような小さなバスがほしい</li> <li>・ 病院までの交通手段</li> <li>・ バスの本数が少ない</li> <li>・</li> </ul>
その他	75	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調子の悪いときでも動かなくてはならない</li> <li>・ 自分自身がなにをすればいいのかわからない</li> <li>・ 外出が出来ない</li> <li>・ 実家にだれかいないと不安で留守番もままならない</li> <li>・ 外出が怖い</li> <li>・ 車いすだと歩道の駐車が邪魔</li> <li>・ 車いすだと自宅トイレが利用できない</li> </ul>
計	374	

## ～ 就労について ～

問 14 あなたは現在、働いていますか。

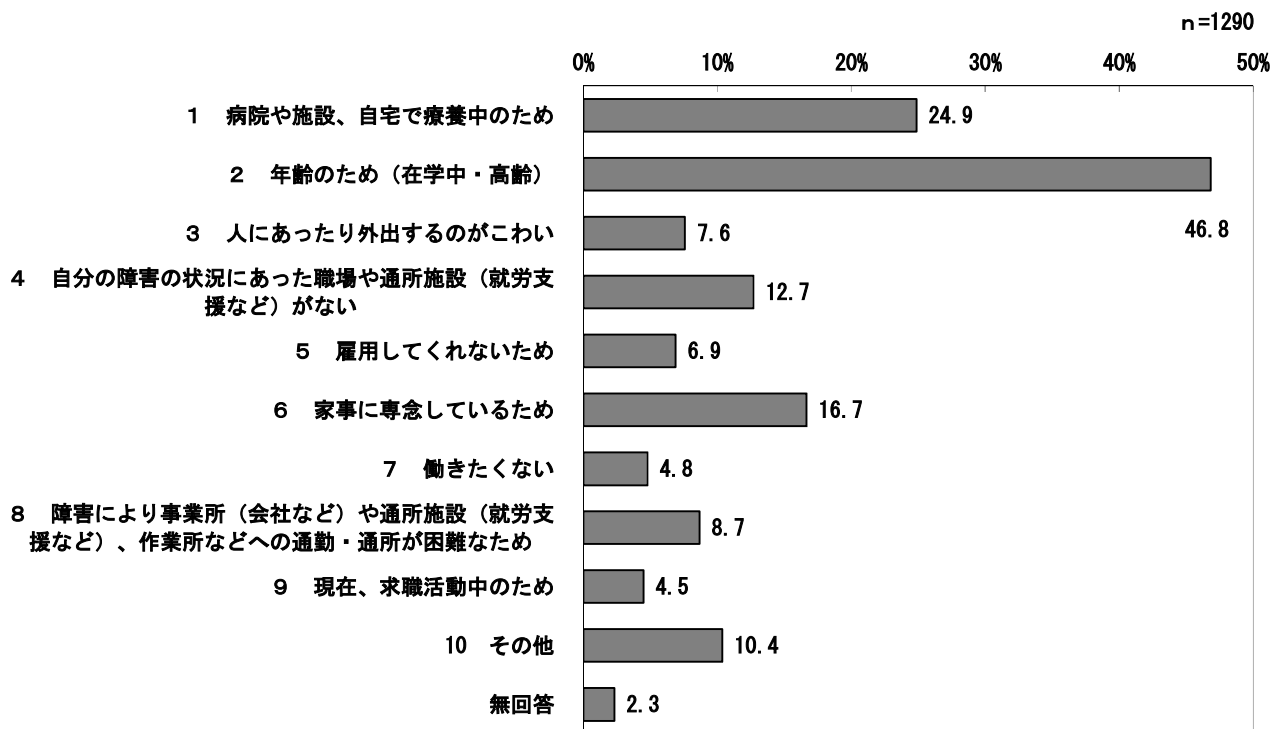
「1 会社や通所施設（就労支援など）で働いている」が 30.9%、「2 働いていない」が 62.4%となっています。



（問 14 で 2 を選んだ方に）

問 14-1 働いていない理由は何ですか。

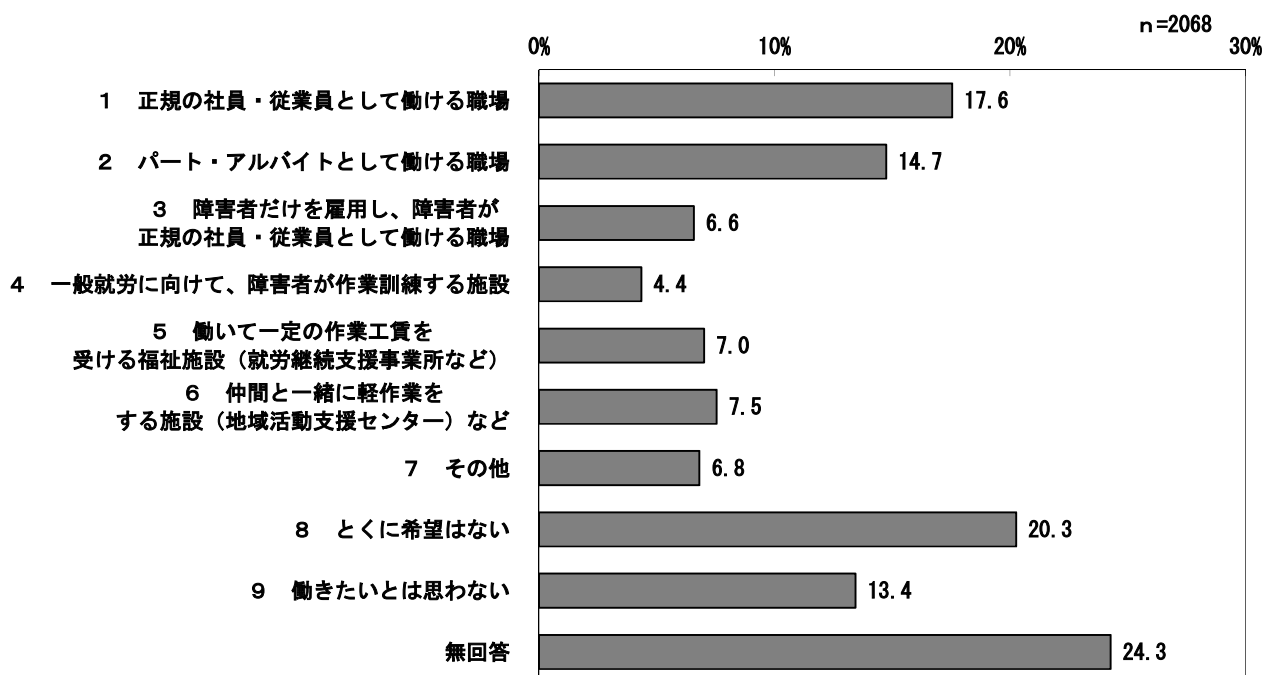
「2 年齢のため（在学中・高齢）」が46.8%で最も多く、次いで「1 病院や施設、自宅で療養中のため」が24.9%、「6 家事に専念しているため」が16.7%、「4 自分の障害の状況にあった職場や通所施設（就労支援など）がない」が12.7%、「10 その他」が10.4%となっています。



●主な「その他」記入: 学生／高齢／障害が気になる／障害を理由に働かせてもらえない／在宅介護を行っている／農業に従事している／体調が悪い、身体に不具合を感じる／など

問 15 あなたは今後、「働く場」として、どのようなところを希望しますか。

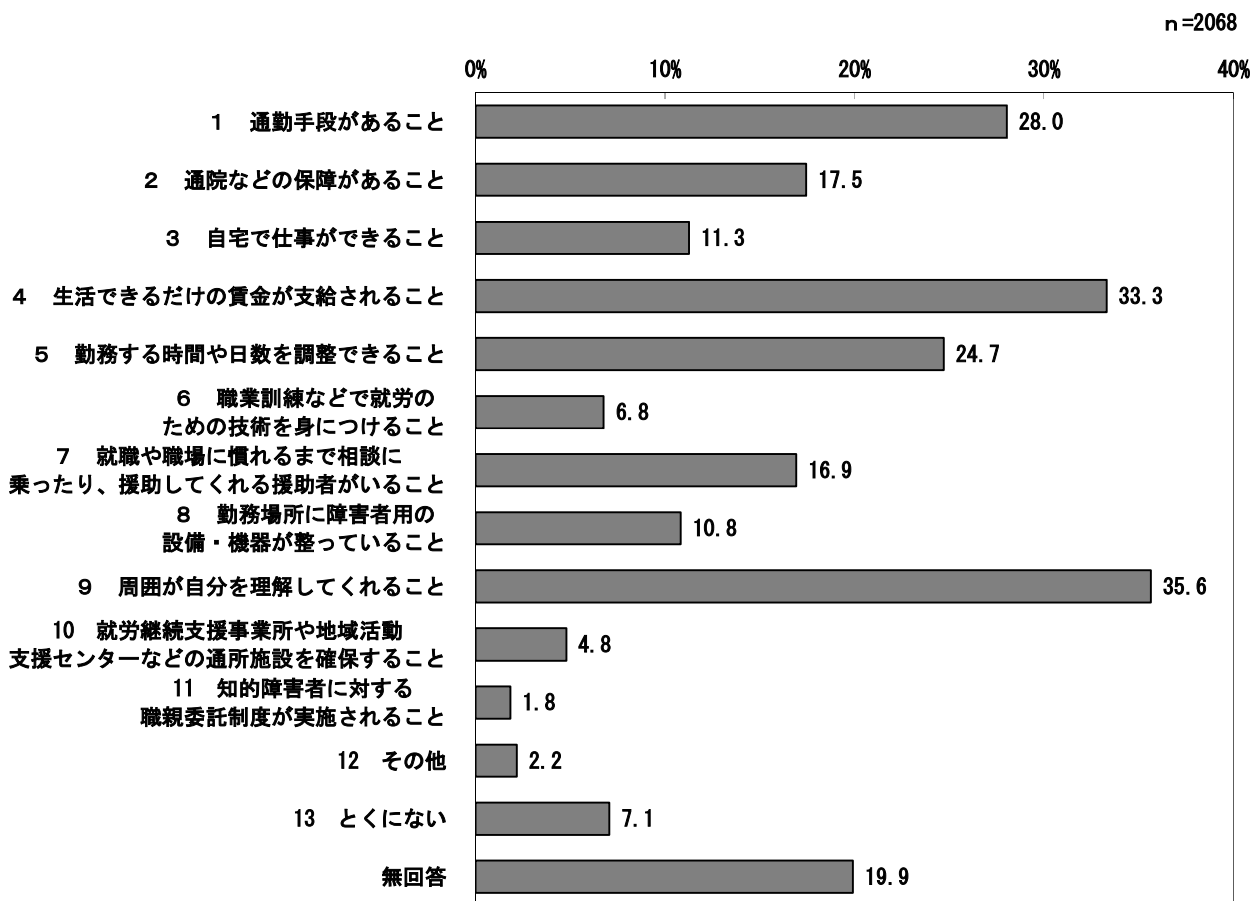
「8 とくに希望はない」が 20.3%で最も多く、次いで「1 正規の社員・従業員として働ける職場」が 17.6%、「2 パート・アルバイトとして働ける職場」が 14.7%、「9 働きたいとは思わない」が 13.4%、「6 仲間と一緒に軽作業をする施設（地域活動支援センター）など」が 7.5%となっています。



●主な「その他」記入: 障害が重い、体力がない、高齢等で働けない／障害に理解のある職場／家事、農業、自営業等なので働きに出ない／など

問 16 障害のある人が働くためには、どのような環境が整っていることが大切だと思いますか。

「9 周囲が自分を理解してくれること」が 35.6%で最も多く、次いで「4 生活できるだけの賃金が支給されること」が 33.3%、「1 通勤手段があること」が 28.0%、「5 勤務する時間や日数を調整できること」が 24.7%、「2 通院などの保障があること」が 17.5%となっています。

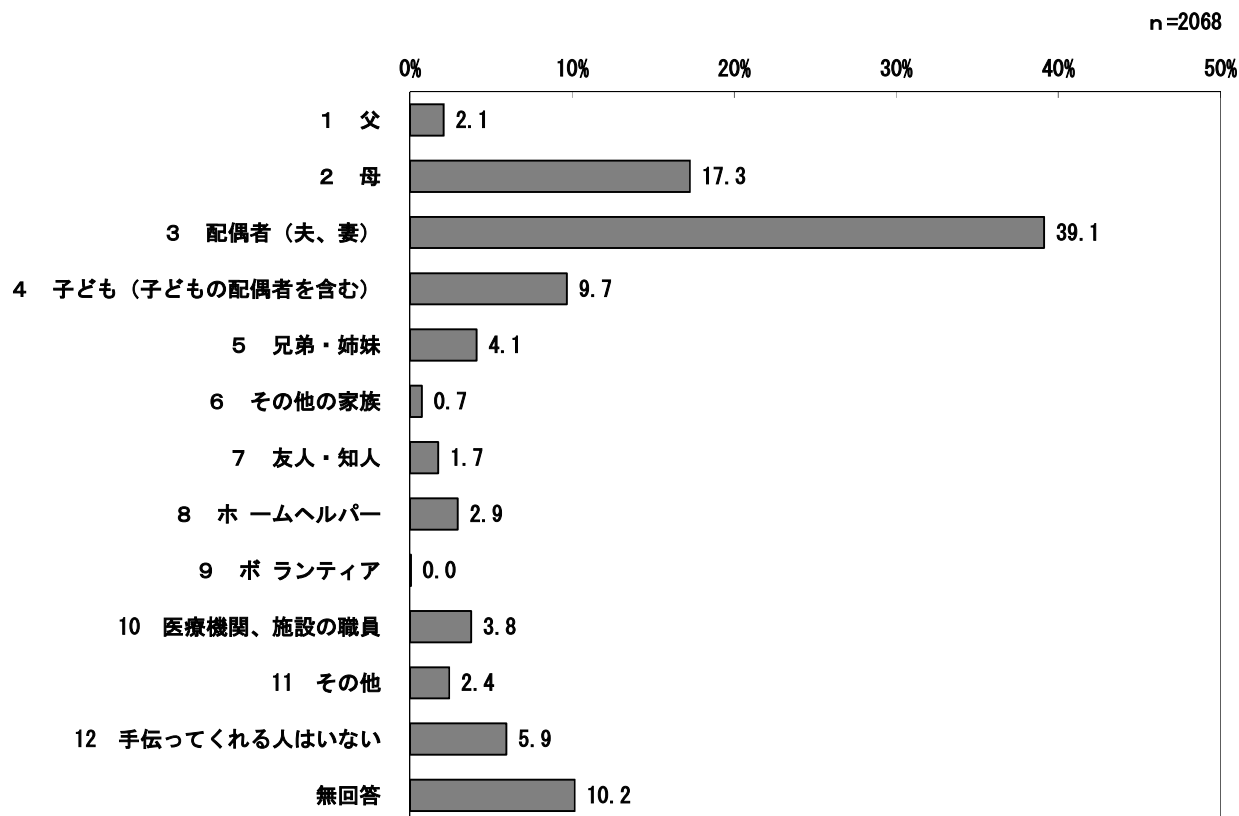


●主な「その他」記入: 人それぞれ障害等異なるため分からない／年齢のため働けない／学校卒業後、就労の移行期間が保障されること／適切な職場である場所／など

## ～ 身の回りのことについて ～

問 17 身の回りの手伝いが必要なとき、主に誰に手伝ってもらいますか。

「3 配偶者（夫、妻）」が 39.1%で最も多く、次いで「2 母」が 17.3%、「4 子ども（子どもの配偶者を含む）」が 9.7%、「12 手伝ってくれる人はいない」が 5.9%、「5 兄弟・姉妹」が 4.1%となっています。

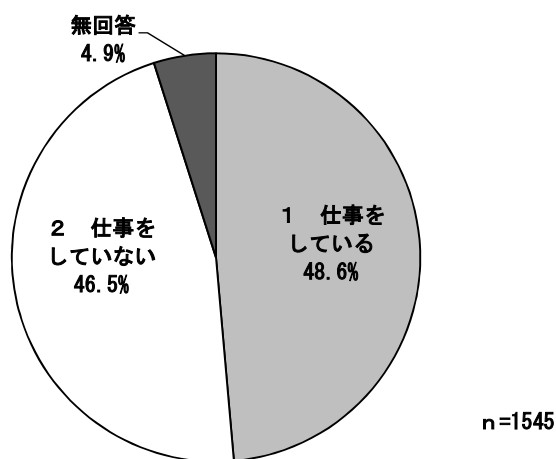


●主な「その他」記入：必要ない／一人のできる／GH 世話人（職員）／身内、知人／など



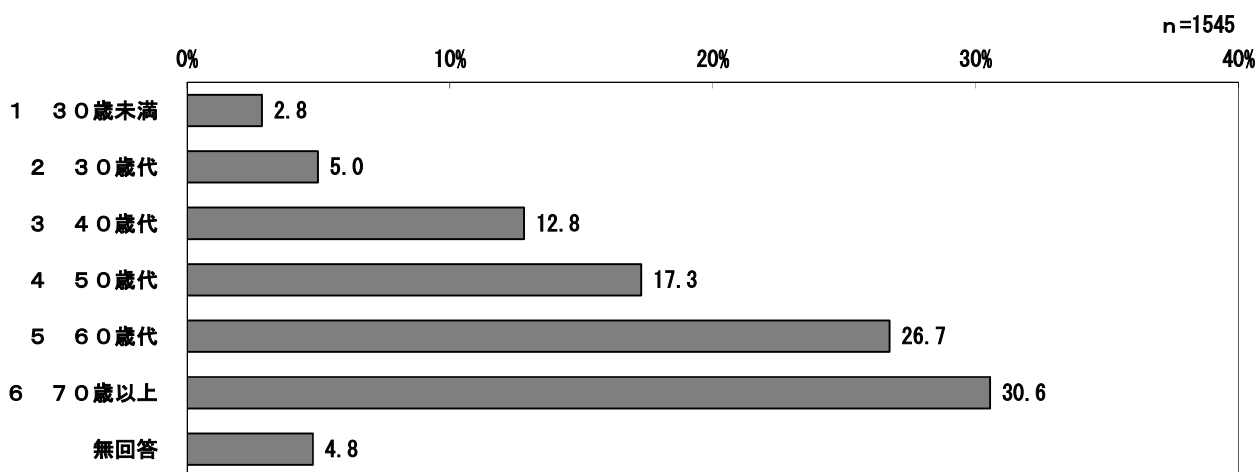
問 17-1 その方は仕事をしていますか。

「1 仕事をしている」が 48.6%、「2 仕事をしていない」が 46.5%となっています。



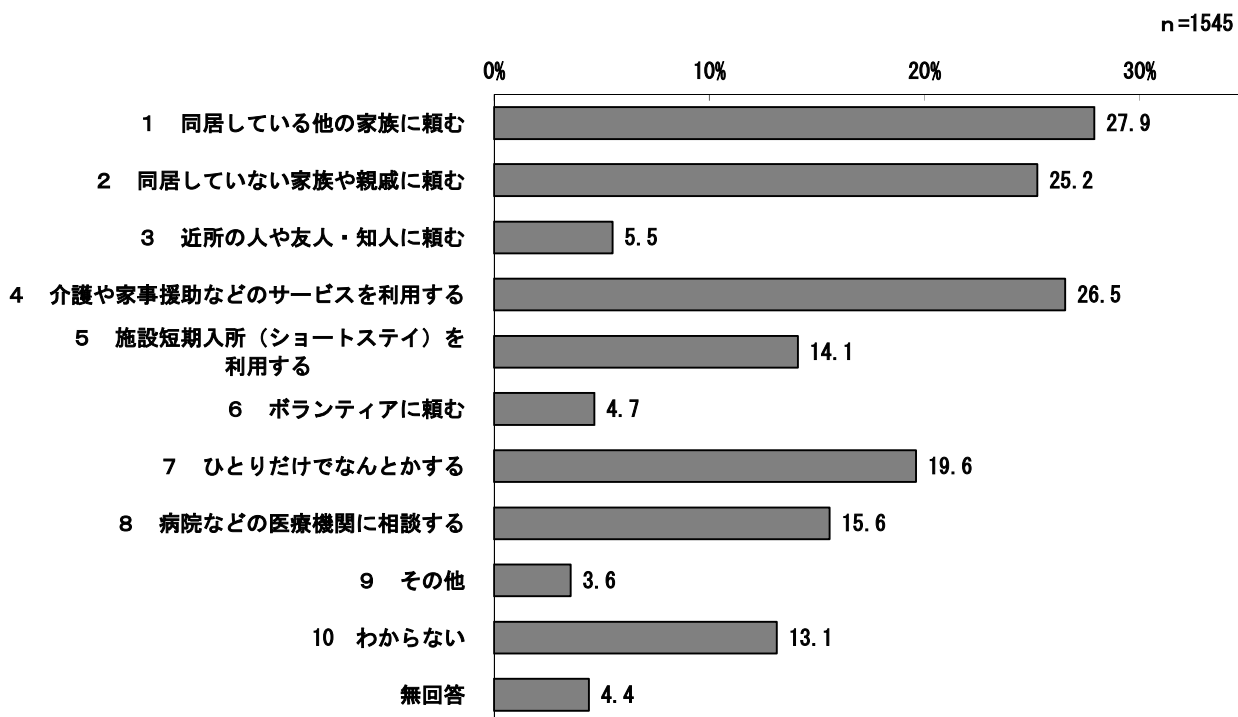
問 17-2 その方の年齢は何歳ですか。

「6 70歳以上」が 30.6%で最も多く、次いで「5 60歳代」が 26.7%、「4 50歳代」が 17.3%、「3 40歳代」が 12.8%、「2 30歳代」が 5.0%となっています。



問 17-3 その方が手伝えなくなった場合、どうしますか。

「1 同居している他の家族に頼む」が 27.9%で最も多く、次いで「4 介護や家事援助などのサービスを利用する」が 26.5%、「2 同居していない家族や親戚に頼む」が 25.2%、「7 ひとりだけでなんとかする」が 19.6%、「8 病院などの医療機関に相談する」が 15.6%となっています。

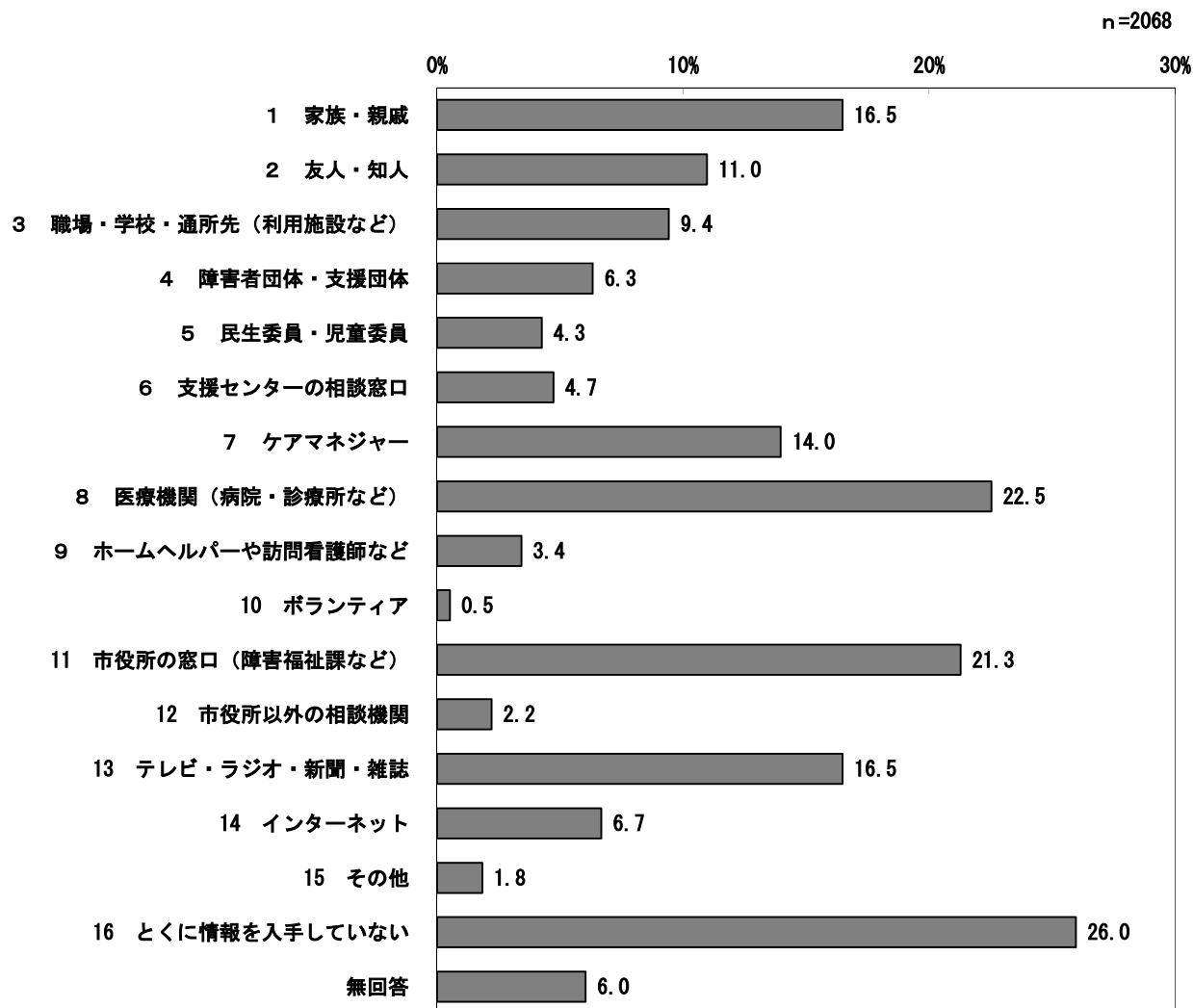


●主な「その他」記入：死を考える／その時になってみないと考えられない／困る、心配／ケアマネージャーと相談する／福祉施設サービスを利用する／近くにいる親戚等に頼む／市の職員に頼る／など

## ～ 情報収集について ～

問 18 あなたは、福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。

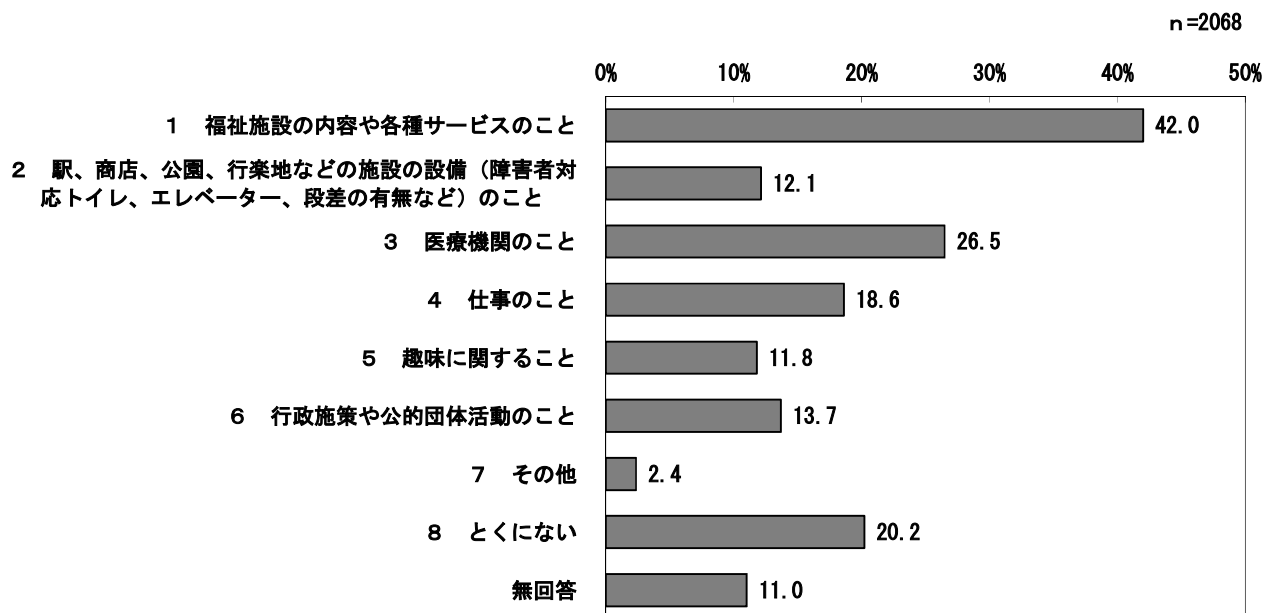
「16 とくに情報を入手していない」が 26.0%で最も多く、次いで「8 医療機関（病院・診療所など）」が 22.5%、「11 市役所の窓口（障害福祉課など）」が 21.3%、「1 家族・親戚」が 16.5%、「13 テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」が 16.5%となっています。



●主な「その他」記入：市広報／GH 支援員／どこで情報が手に入るかわからない／自分／ケースワーカー／など

問 19 あなたが、ほしい情報はどのような内容ですか。

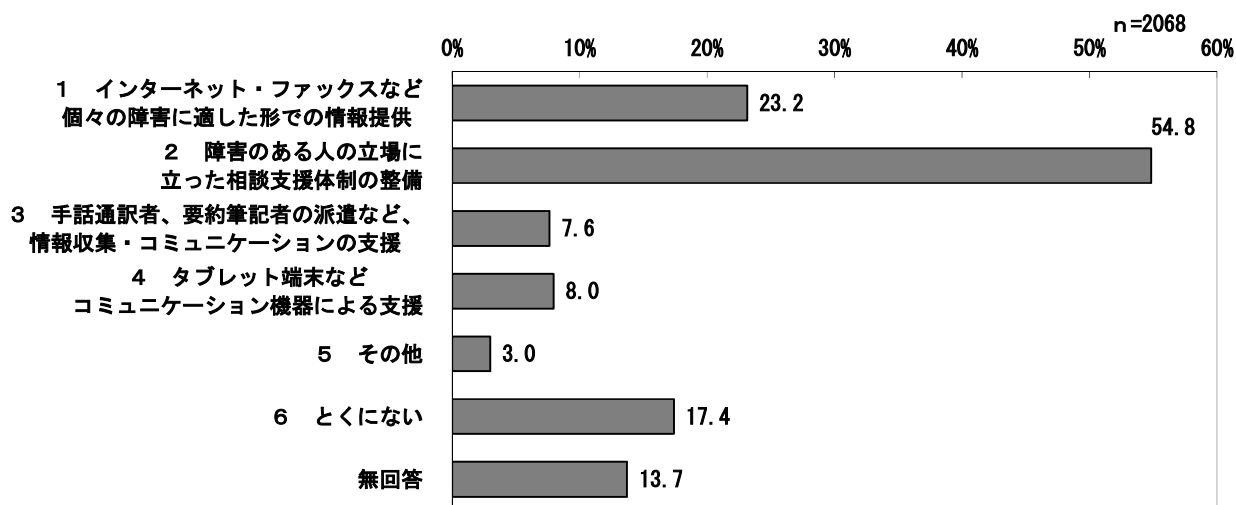
「1 福祉施設の内容や各種サービスのこと」が42.0%で最も多く、次いで「3 医療機関のこと」が26.5%、「8 とくにない」が20.2%、「4 仕事のこと」が18.6%、「6 行政施策や公的団体活動のこと」が13.7%となっています。



●主な「その他」記入：自身の病気について(症状、薬や治療等も含む)／福祉サービスの情報(種別、内容相談窓口等)／大学生の為、他所で一人暮らし／就職関係や生活など直接関わりのあること／障害年金をもらえるようにしてくれる弁護士の有無／など

問 20 あなたは、障害のある人の情報収集・コミュニケーションに関し、どのようなことが必要だと思いますか

「2 障害のある人の立場に立った相談支援体制の整備」が 54.8%で最も多く、次いで「1 インターネット・ファックスなど個々の障害に適した形での情報提供」が 23.2%、「6 とくにない」が 17.4%、「4 タブレット端末などコミュニケーション機器による支援」が 8.0%、「3 手話通訳者、要約筆記者の派遣など、情報収集・コミュニケーションの支援」が 7.6%となっています。

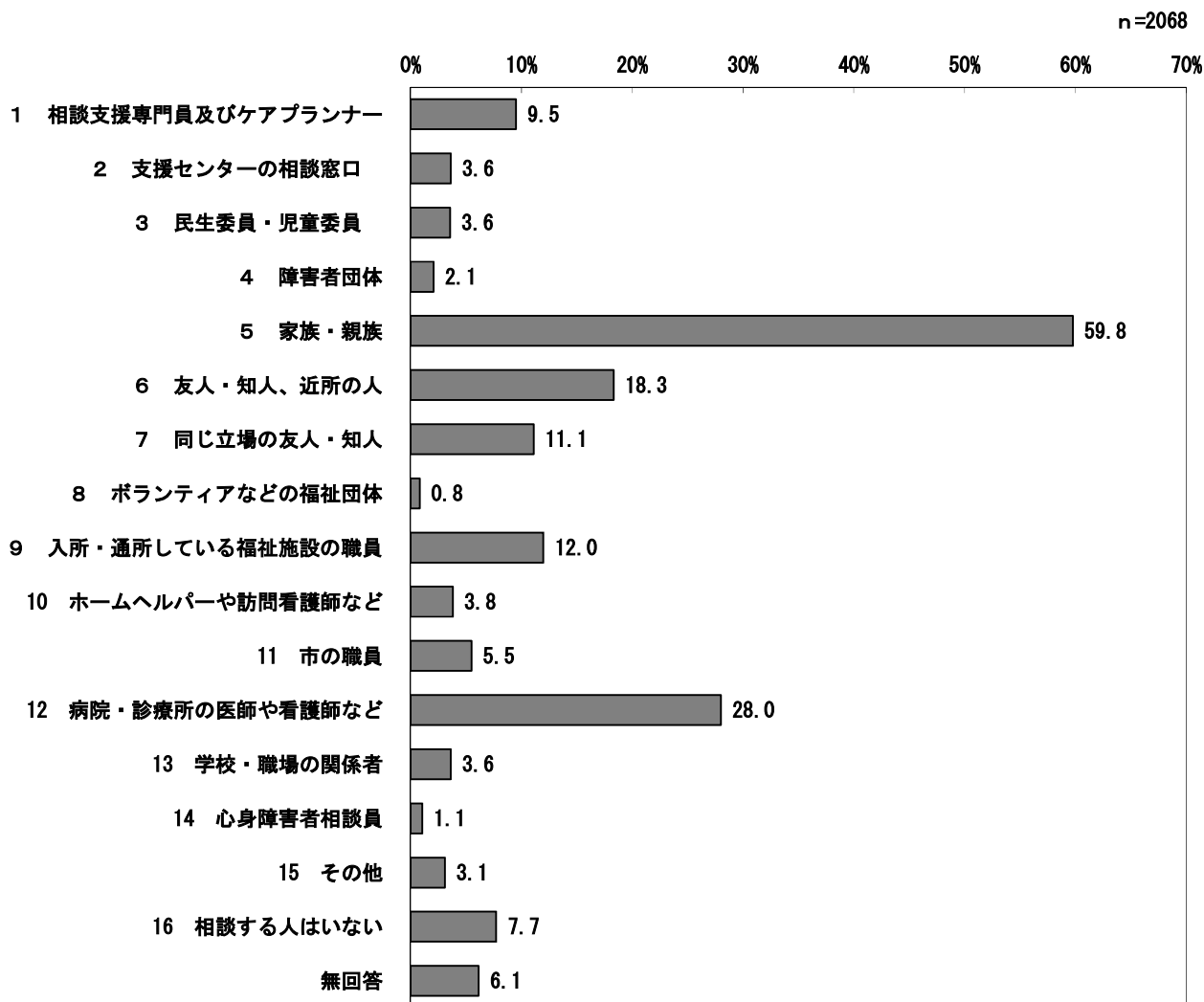


●主な「その他」記入：行政の広報誌「広報ながの」等／インターネットの環境がなくても情報が得られる環境／障害のことをよく理解している、気軽に相談に乗ってもらえる場所、専門家／など

## ～ 相談ごとについて ～

問 21 あなたは、生活上の悩みごとや心配ごとを誰に相談していますか。

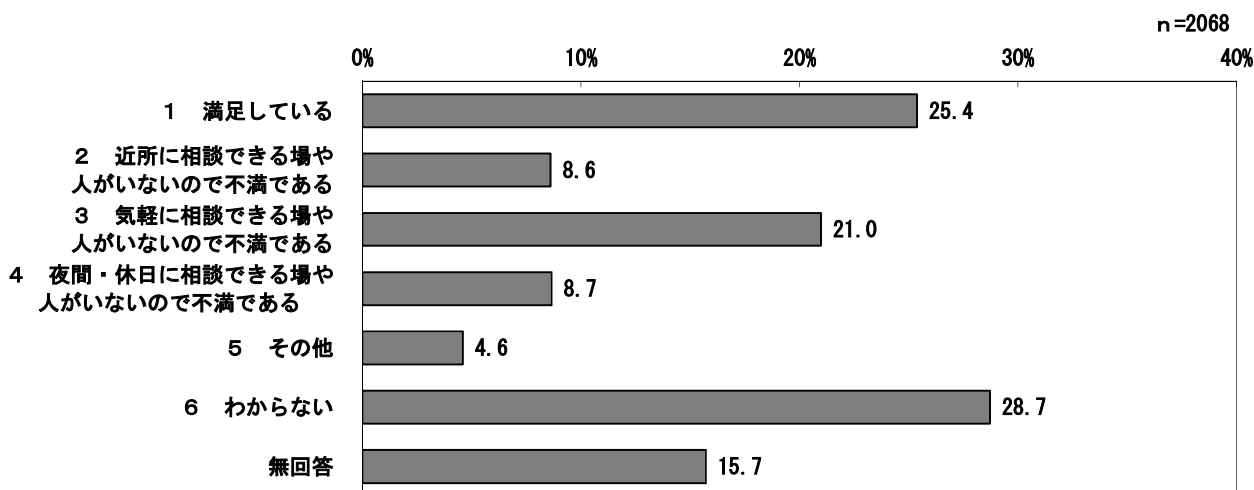
「5 家族・親族」が 59.8%で最も多く、次いで「12 病院・診療所の医師や看護師など」が 28.0%、「6 友人・知人、近所の人」が 18.3%、「9 入所・通所している福祉施設の職員」が 12.0%、「7 同じ立場の友人・知人」が 11.1%となっています。



●主な「その他」記入: ケアマネージャー／職場の同僚、上司／医師／相談すること、人は特にいない／など

問 22 現在の困った時の相談体制について、あなたはどのように感じていますか。

「6 わからない」が28.7%で最も多く、次いで「1 満足している」が25.4%、「3 気軽に相談できる場や人がいないので不満である」が21.0%、「4 夜間・休日に相談できる場や人がいないので不満である」が8.7%、「2 近所に相談できる場や人がいないので不満である」が8.6%となっています。

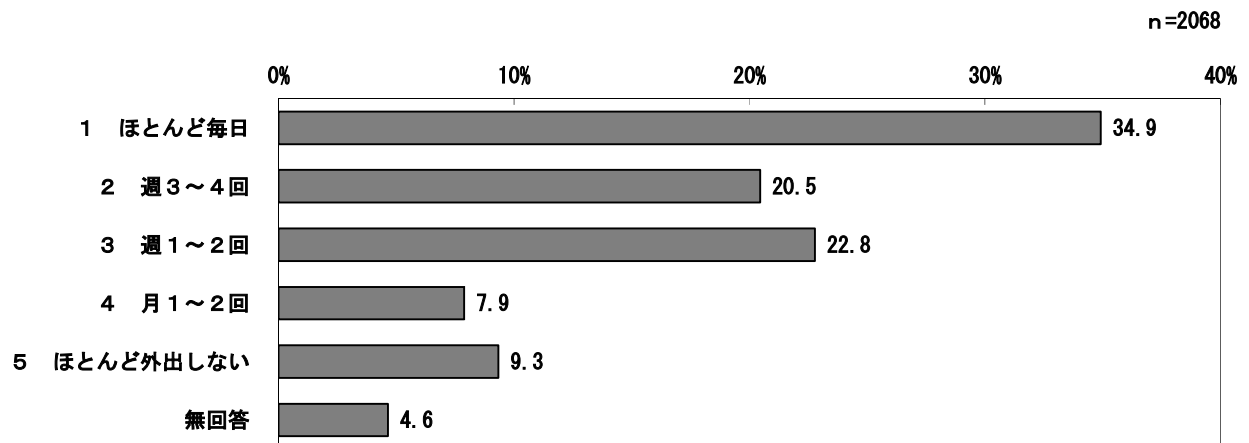


●主な「その他」記入: 専門的な知識がある人がいない/どこへ相談に行けばいいのかわからない/家族で話し合っている/いまのところ困っていることがない/地域のケアマネージャー/通所の職員/など

## ～ 外出について ～

問 23 あなたは、普段どのくらい外出しますか。

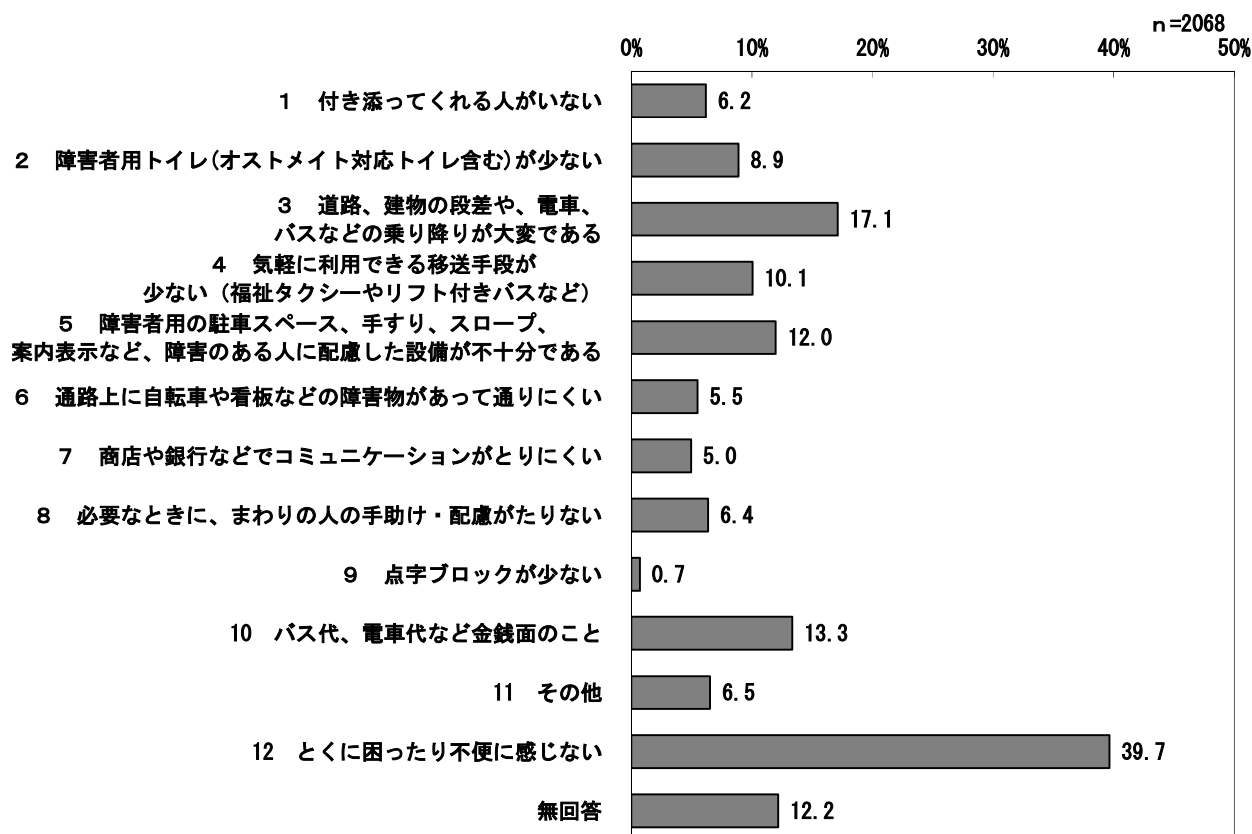
「1 ほとんど毎日」が34.9%で最も多く、次いで「3 週1～2回」が22.8%、「2 週3～4回」が20.5%、「5 ほとんど外出しない」が9.3%、「4 月1～2回」が7.9%となっています。





問 24 外出の際に困ったり、不便に感じることはありますか。

「12 とくに困ったり不便に感じない」が 39.7%で最も多く、次いで「3 道路、建物の段差や、電車、バスなどの乗り降りが大変である」が 17.1%、「10 バス代、電車代など金銭面のこと」が 13.3%、「5 障害者用の駐車スペース、手すり、スロープ、案内表示など、障害のある人に配慮した設備が不十分である」が 12.0%、「4 気軽に利用できる移送手段が少ない（福祉タクシーやリフト付きバスなど）」が 10.1%となっています。

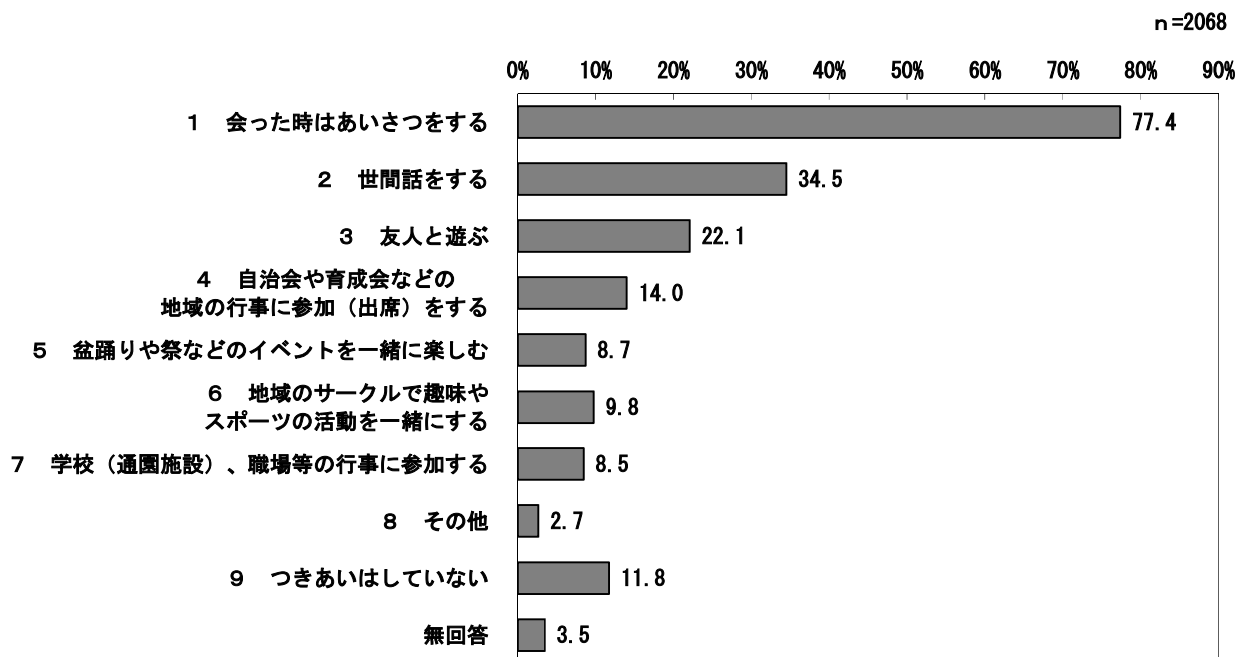


●主な「その他」記入：タクシー代が高い／バスの移送本数が少ない／自転車道が不便、自転車しか交通手段がないが体力が衰えづらい／外出できない／など

## ～ 地域とのかかわりについて ～

問 25 あなたは、ふだん地域の人とどのようなおつきあいをしていますか。

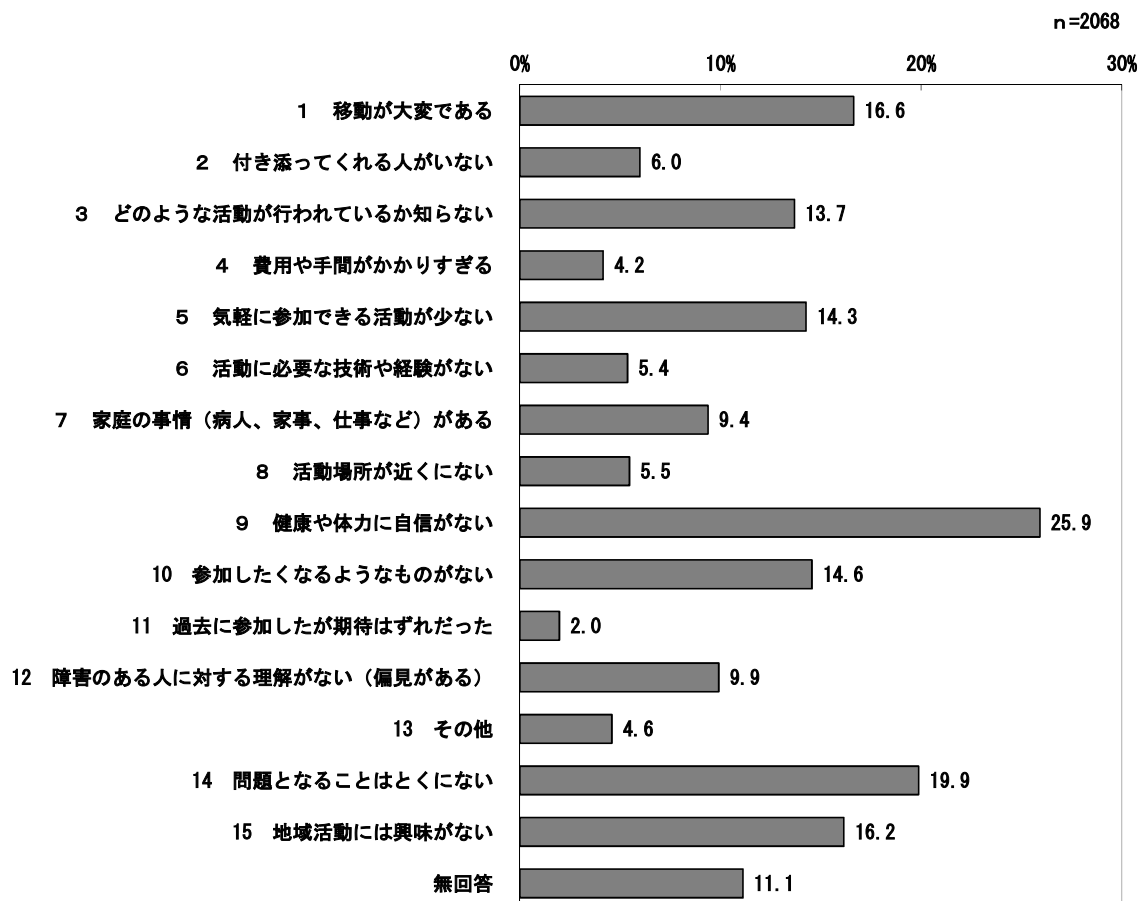
「1 会った時はあいさつをする」が77.4%で最も多く、次いで「2 世間話をする」が34.5%、「3 友人と遊ぶ」が22.1%、「4 自治会や育成会などの地域の行事に参加（出席）をする」が14.0%、「9 つきあいはしていない」が11.8%となっています。



●主な「その他」記入：デイケアで仲間に出会ったとき／デイサービスで令活をしている／地域行事、町内会、自治体の付き合いに参加している／人、きれい／付き合いとか理解できない／など

問 26 あなたが地域活動に参加する場合、問題となることは何ですか。

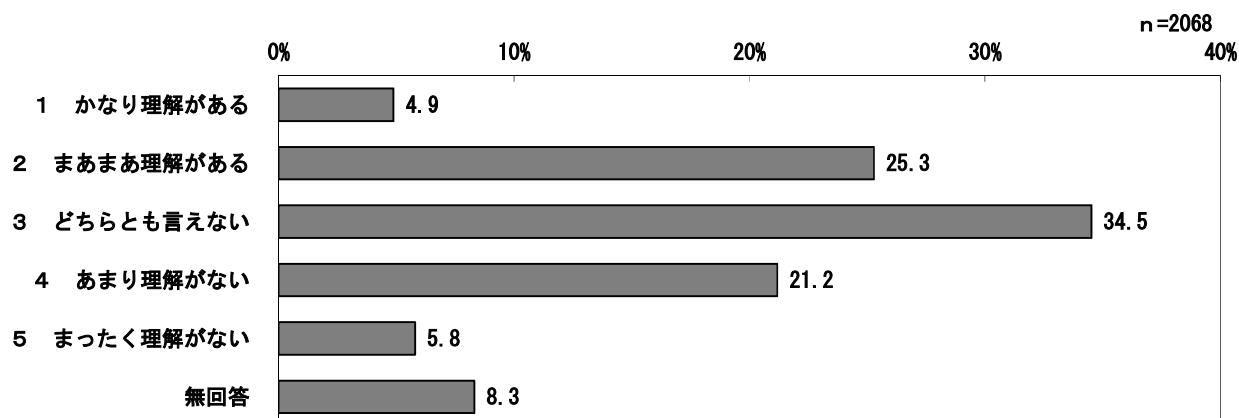
「9 健康や体力に自信がない」が25.9%で最も多く、次いで「14 問題となることはとくにない」が19.9%、「1 移動が大変である」が16.6%、「15 地域活動には興味がない」が16.2%、「10 参加したくなるようなものがない」が14.6%となっています。



●主な「その他」記入：人と関わるのが苦手／コミュニケーション能力に自信がない／障害が重い／活動できる状況ではない／人が怖い／障害を理解してもらえないので不安／体力がない／など

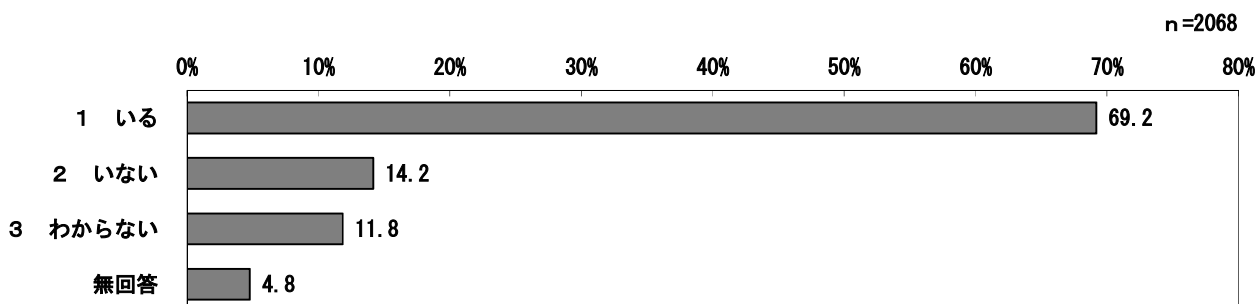
問 27 障害のある人に対する市民の理解についてどのように感じていますか。

「3 どちらとも言えない」が34.5%で最も多く、次いで「2 まあまあ理解がある」が25.3%、「4 あまり理解がない」が21.2%、「5 まったく理解がない」が5.8%、「1 かなり理解がある」が4.9%となっています。



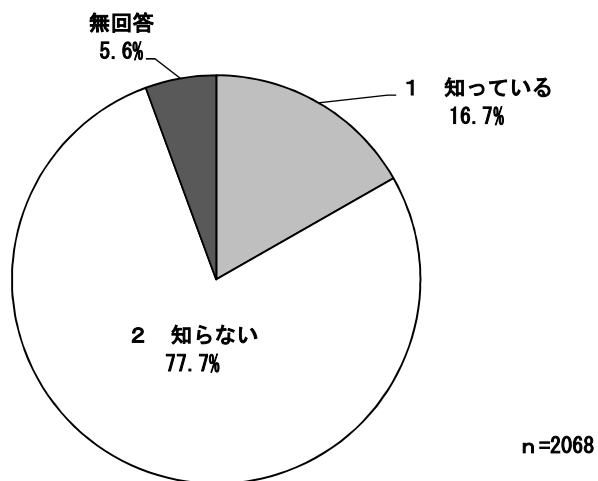
問 28 あなたには、急病などの緊急時や地震、台風などの災害時に手助けをしてくれる人が身近にいますか。

「1 いる」が69.2%で最も多く、次いで「2 いない」が14.2%、「3 わからない」が11.8%となっています。



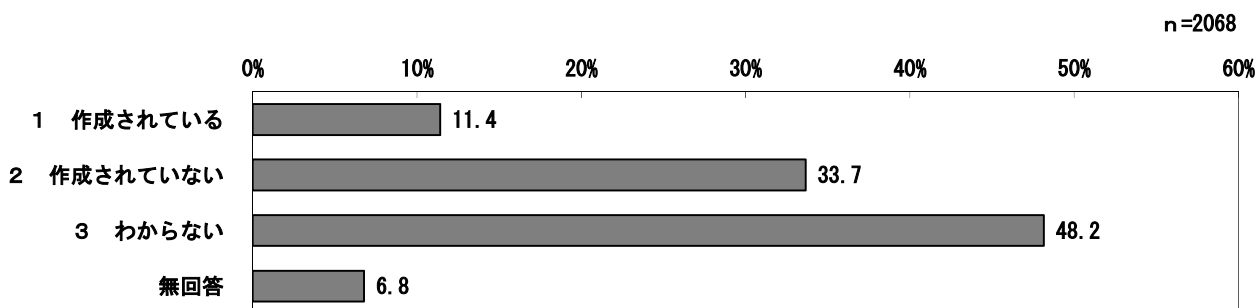
問 29 あなたは、避難行動要支援者台帳を知っていますか

「1 知っている」が16.7%、「2 知らない」が77.7%となっています。



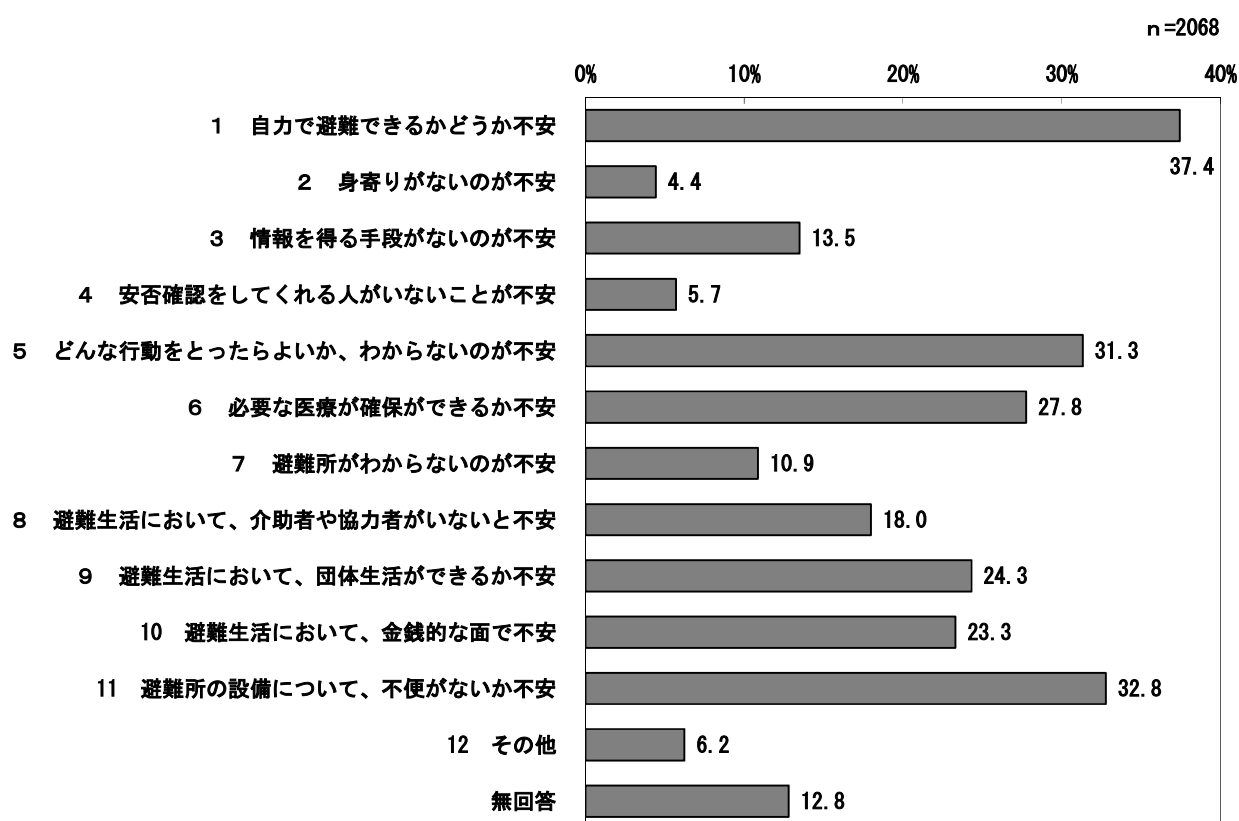
問 30 地域の民生委員など、地域の防災関係者と相談して避難支援計画が作成されていますか。

「3 わからない」が48.2%で最も多く、次いで「2 作成されていない」が33.7%、「1 作成されている」が11.4%、「無回答」が6.8%、「非該当」が0.0%となっています。



問 31 あなたは災害時を想定した場合、どのような不安がありますか。

「1 自力で避難できるかどうか不安」が 37.4%で最も多く、次いで「11 避難所の設備について、不便がないか不安」が 32.8%、「5 どんな行動をとったらよいか、わからないのが不安」が 31.3%、「6 必要な医療が確保ができるか不安」が 27.8%、「9 避難生活において、団体生活ができるか不安」が 24.3%となっています。

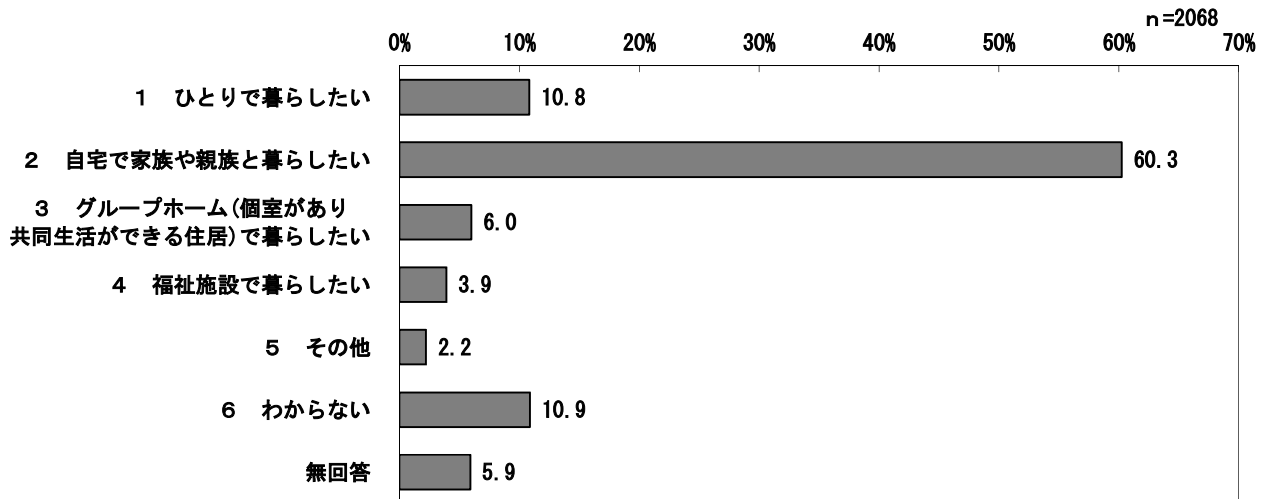


●主な「その他」記入:薬の確保/介護が必要な親と一緒に避難できるか心配/特にない/その時になってみないとわからない/自身の精神状態/避難所で迷惑をかけてしまう/など

## ～ 今後の生活について ～

問 32 あなたは、これからの生活をどのように送りたいとお考えですか。

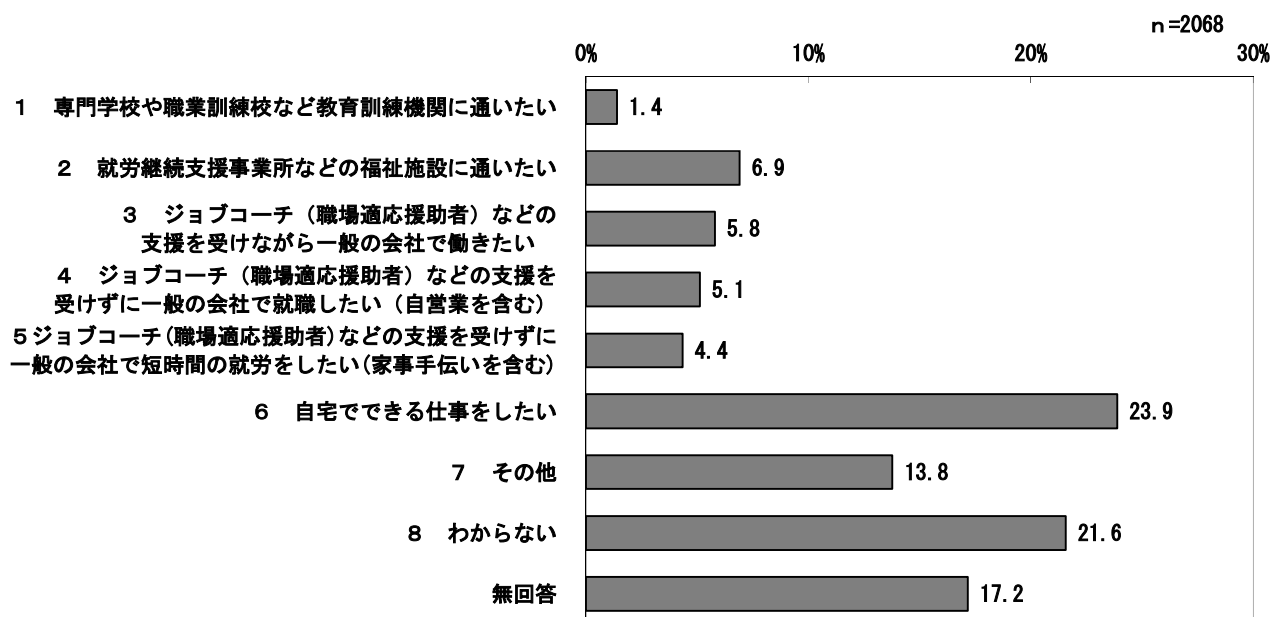
「2 自宅で家族や親族と暮らしたい」が60.3%で最も多く、次いで「6 わからない」が10.9%、「1 ひとりで暮らしたい」が10.8%、「3 グループホーム(個室があり共同生活ができる住居)で暮らしたい」が6.0%、「4 福祉施設で暮らしたい」が3.9%となっています。



●主な「その他」記入:現状のままだいい／親、家族、妻といっしょに暮らしていきたい／女友達、友達同士、パートナー等／静かな GH で暮らしたい／医療の充実した入院生活を送りたい／など

問 33 あなたは、今後、日中どのように過ごしたいと思いますか。

「6 自宅でできる仕事をしたい」が 23.9%で最も多く、次いで「8 わからない」が 21.6%、「7 その他」が 13.8%、「2 就労継続支援事業所などの福祉施設に通いたい」が 6.9%、「3 ジョブコーチ（職場適応援助者）などの支援を受けながら一般の会社で働きたい」が 5.8%となっています。



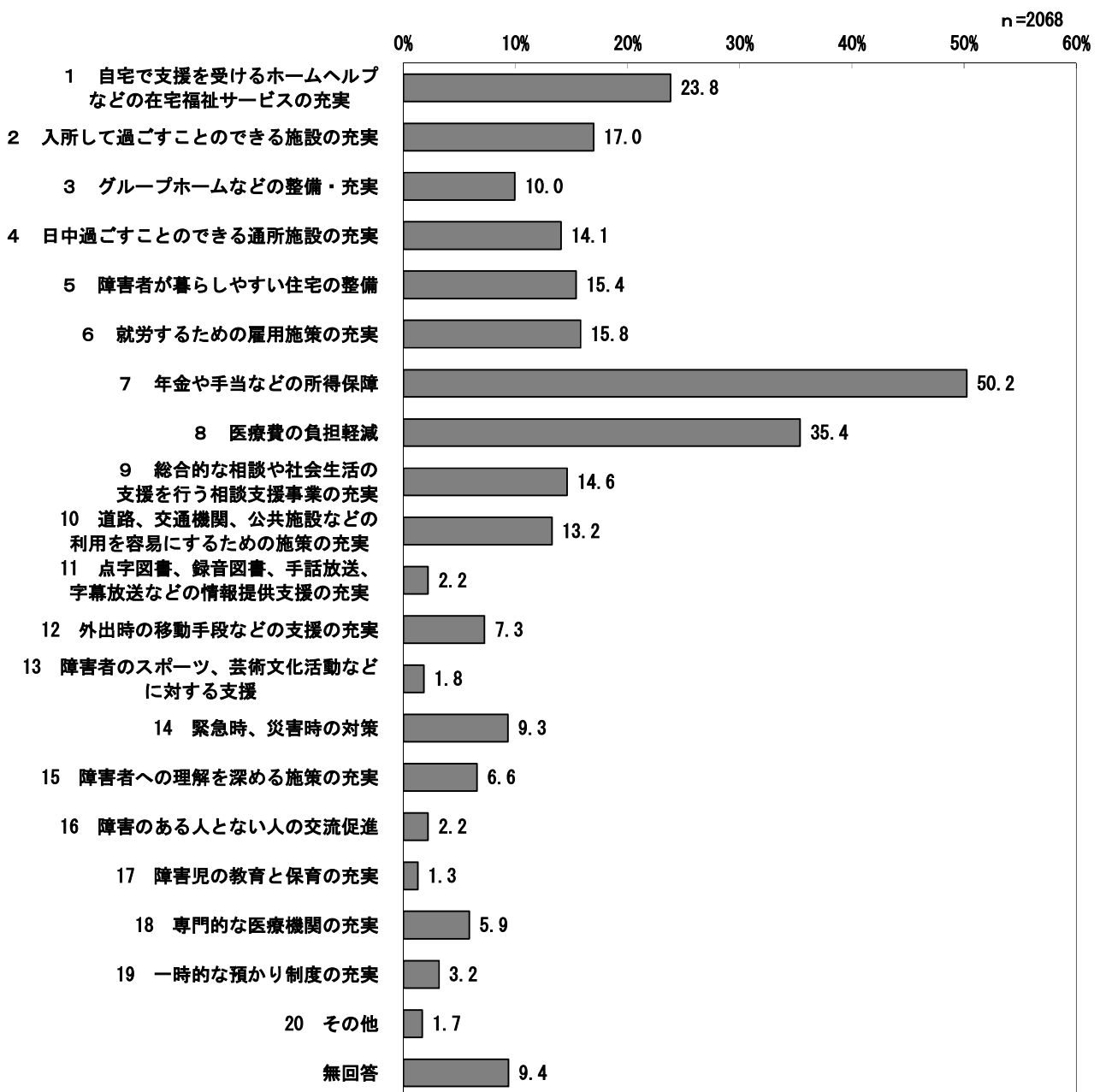
●主な「その他」記入：現在の仕事を継続したい／家事、手伝いを続けていきたい／運動をしていきたい／パートで働きたい／自宅で家族とのんびり過ごしたい／農業、菜園をしていきたい／仕事がしたい／仕事をしないで趣味をして過ごしたい／復職したい／高齢なので年相応に／など



## ～ 長野市の施策について ～

問 34 今後、市が取り組むべき施策として、何が重要だと思いますか。

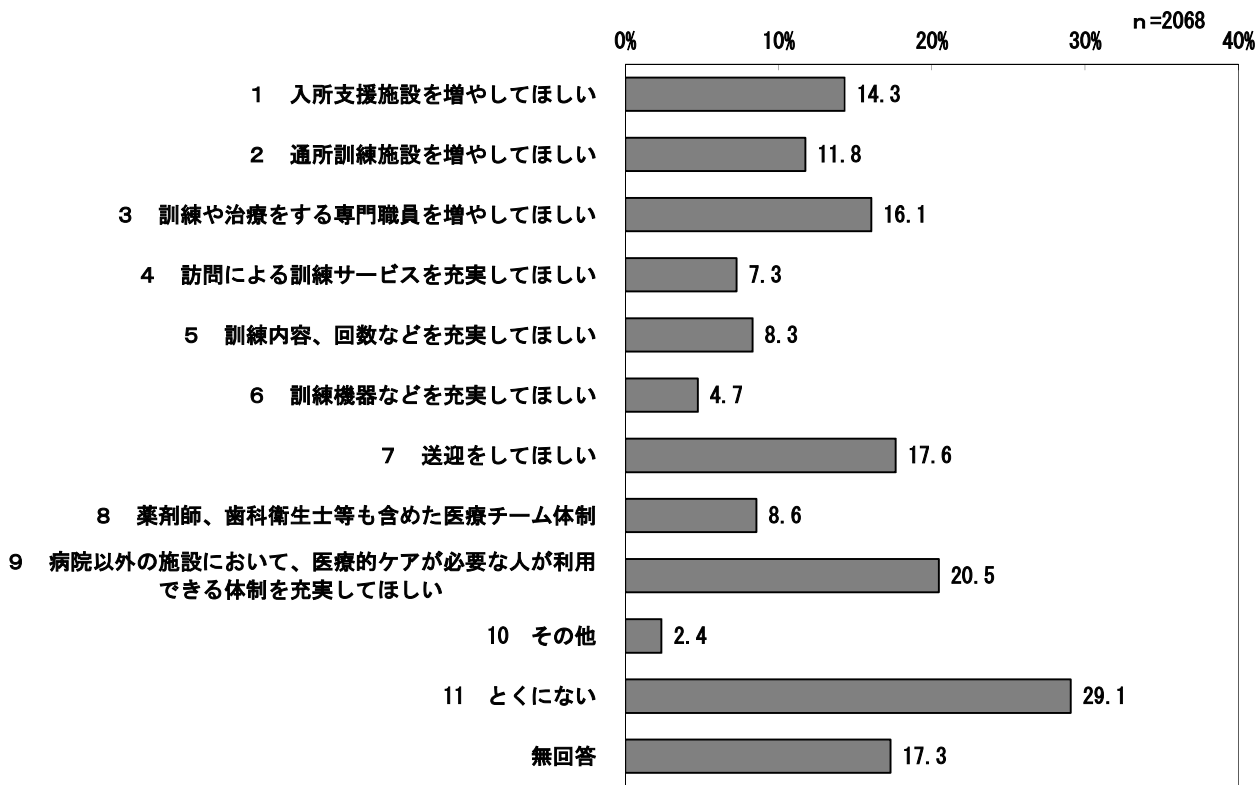
「7 年金や手当などの所得保障」が50.2%で最も多く、次いで「8 医療費の負担軽減」が35.4%、「1 自宅で支援を受けるホームヘルプなどの在宅福祉サービスの充実」が23.8%、「2 入所して過ごすことのできる施設の充実」が17.0%、「6 就労するための雇用施策の充実」が15.8%となっています。



●主な「その他」記入：家庭構成や障害に応じたサービス／労働の対価である賃金を一般の人と同様に差別をなくすこと／医療機関に通うときや買い物に出る時のタクシー等の交通費支援／大学生の為、他所で一人暮らし／精神障害者への理解／など

問 35 施設や病院での訓練や治療について、あなたが希望することはどんなことですか。

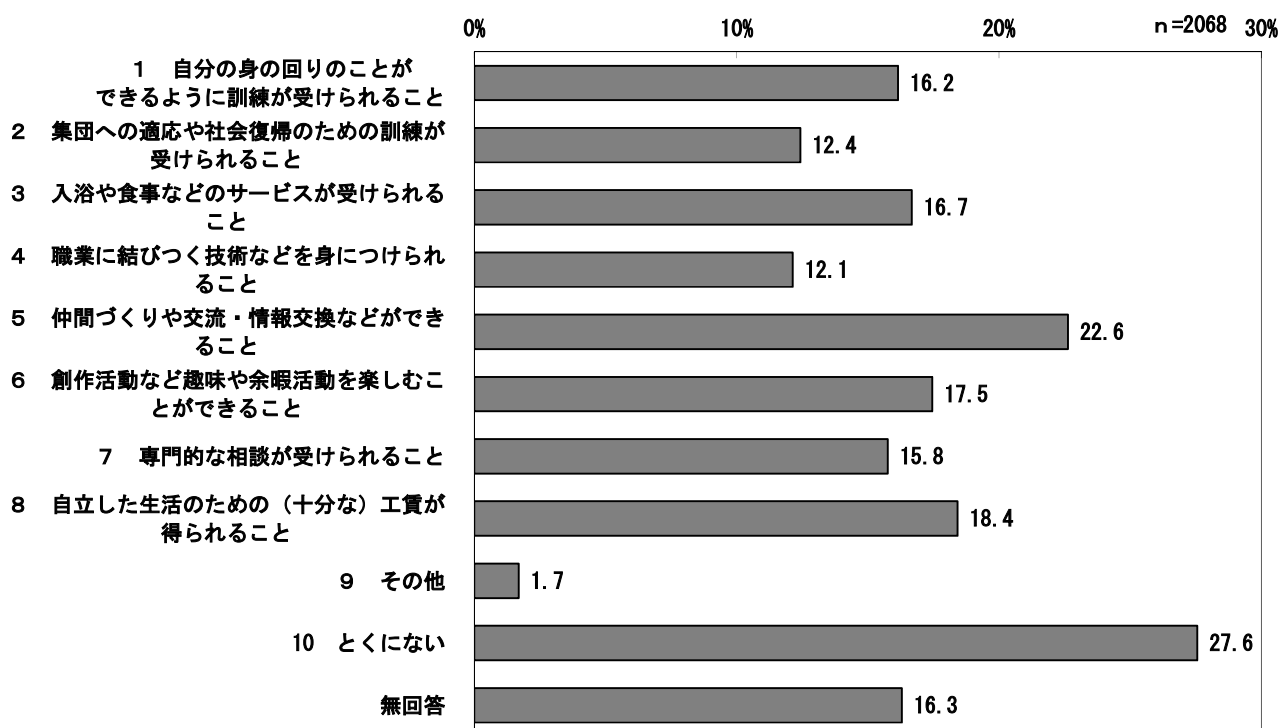
「11 とくにない」が 29.1%で最も多く、次いで「9 病院以外の施設において、医療的ケアが必要な人が利用できる体制を充実してほしい」が 20.5%、「7 送迎をしてほしい」が 17.6%、「3 訓練や治療をする専門職員を増やしてほしい」が 16.1%、「1 入所支援施設を増やしてほしい」が 14.3%となっています。



●主な「その他」記入: マナーや礼儀ではない仕事に役立つスキルを学べるシステムの確立/リハビリ施設/病名と現状の症状が一致しているか等、適格な医療対応と相談ができる仕組み/病院が遠い(緊急のときでもすぐに通える近い病院がほしい/気軽に相談できる場所/先進医療の導入/など

問 36 通所サービスについて、あなたはどのような希望をお持ちですか。

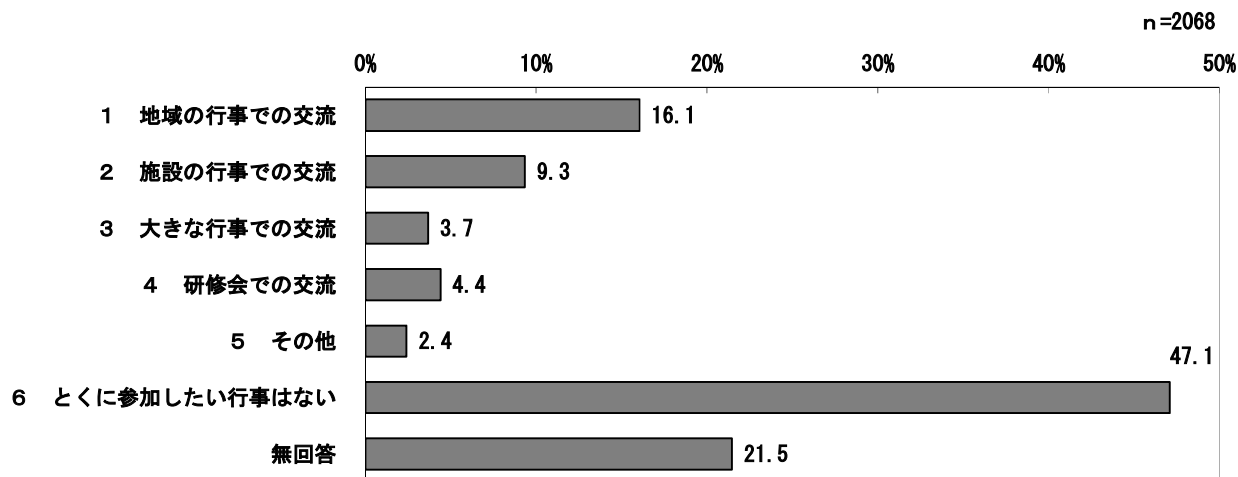
「10 とくにない」が 27.6%で最も多く、次いで「5 仲間づくりや交流・情報交換などができること」が 22.6%、「8 自立した生活のための（十分な）工賃が得られること」が 18.4%、「6 創作活動など趣味や余暇活動を楽しむことができること」が 17.5%、「3 入浴や食事などのサービスが受けられること」が 16.7%となっています。



●主な「その他」記入：軽い運動、ダンスなどの指導、料理教室／リハビリ施設／プールなど夕方以降のこと／スタッフの態度、笑顔で丁寧に／病名の判断が適切なかどうか、他の病院の医師にも判定してもらいたい／旅行や食事会など余暇を楽しむことが受けられること／など

問 37 ふれあいまつりが中止になりましたが、みんなと交流するにはどんな行事が良いですか。

「6 とくに参加したい行事はない」が 47.1%で最も多く、次いで「1 地域の行事での交流」が 16.1%、「2 施設の行事での交流」が 9.3%、「4 研修会での交流」が 4.4%、「3 大きな行事での交流」が 3.7%となっています。

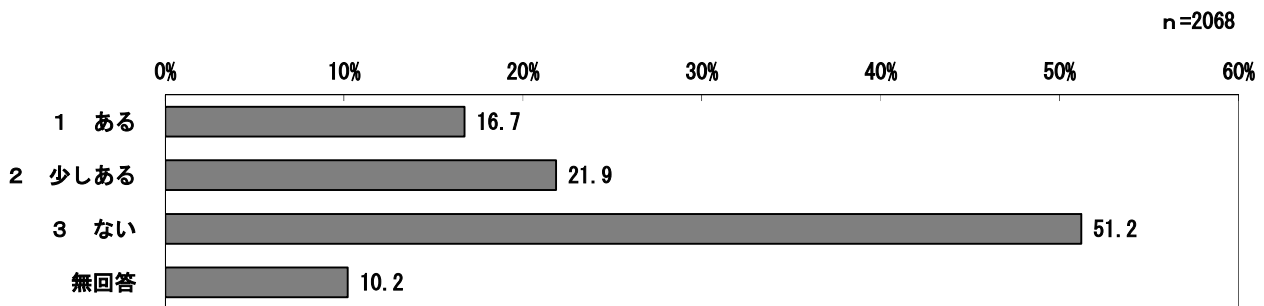


●主な「その他」記入：ふれあいまつりを知らない／ふれあいまつりがあったことを知らない／規模ではなくジャンルを多岐に(スポーツ、料理教室、研究、講演等)／同じ病を持っている人との交流／同じ様な趣味をもつ仲間とそれを支えるボランティアの方々との交流／生活の質の向上の体験交流／など

## ～ 権利擁護について ～

問 38 あなたは、障害があることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。

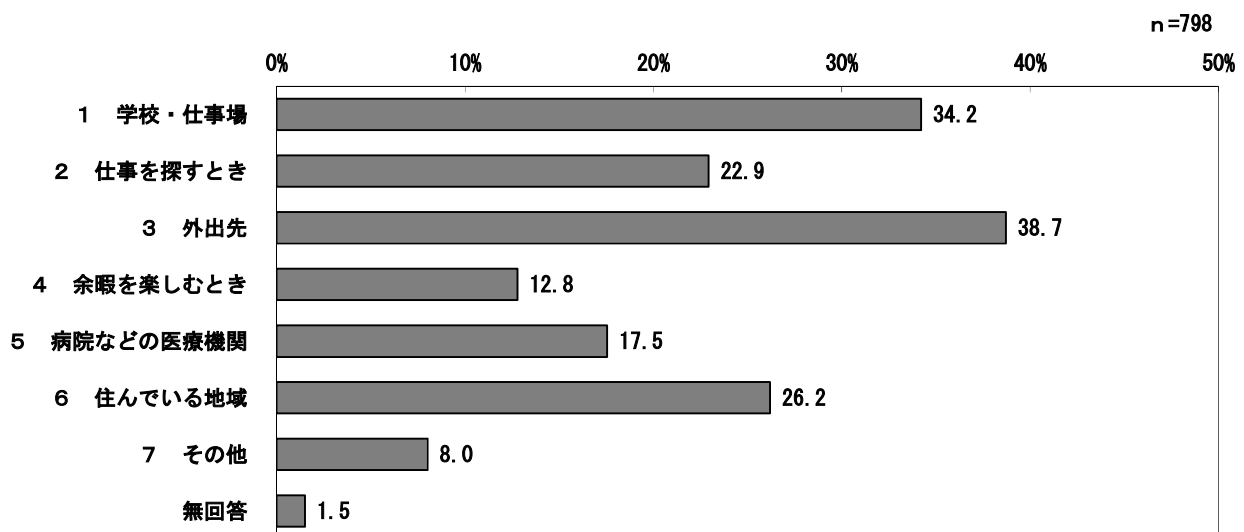
「3 ない」が51.2%で最も多く、次いで「2 少しある」が21.9%、「1 ある」が16.7%となっています。



(問 38 で 1 または 2 を選んだ方に)

問 38-1 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。

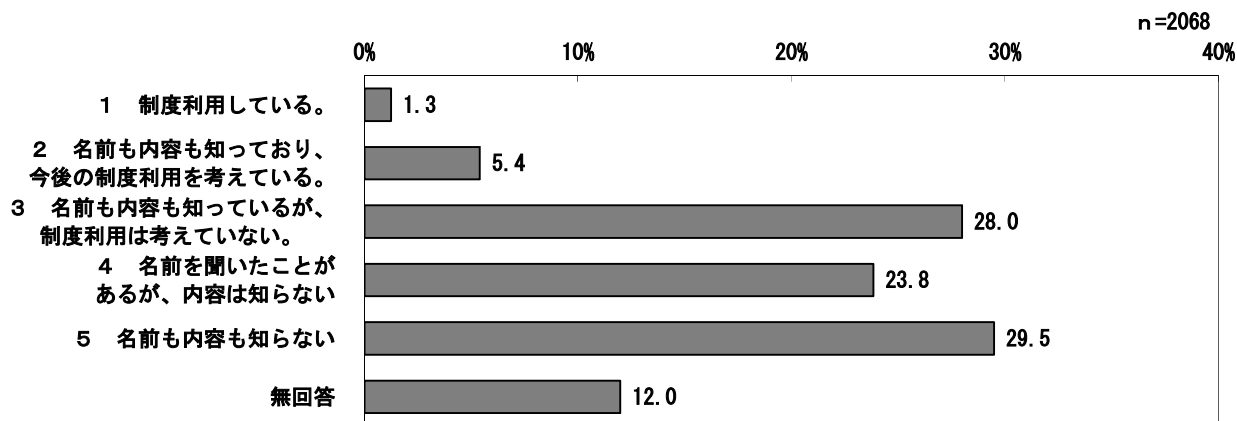
「3 外出先」が38.7%で最も多く、次いで「1 学校・仕事場」が34.2%、「6 住んでいる地域」が26.2%、「2 仕事を探すとき」が22.9%、「5 病院などの医療機関」が17.5%となっています。



●主な「その他」記入: 家族、身内、義母、知人／自宅／市役所、行政／じろじろ見られる／変質者と間違われて職質された／親戚からの偏見の目／など

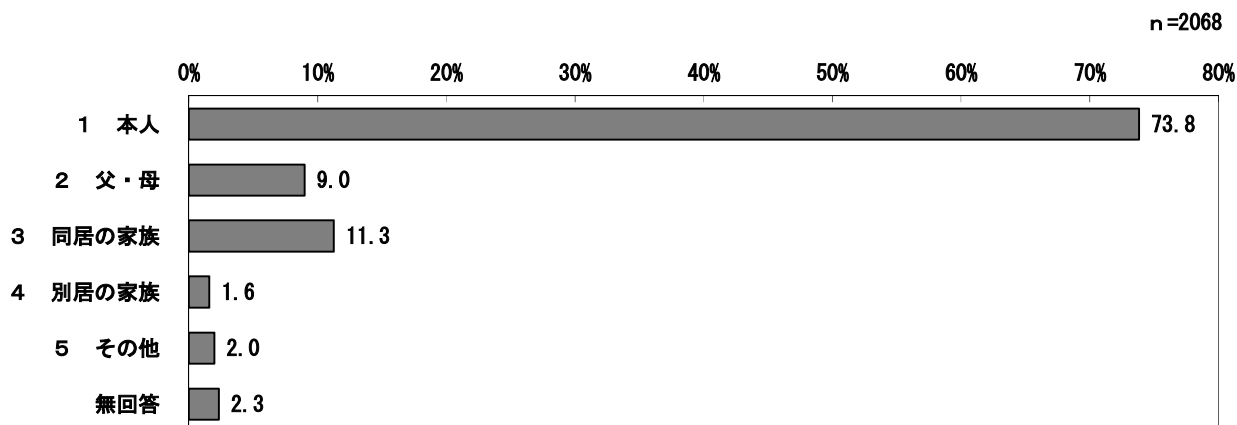
問 39 成年後見制度についてご存じですか。

「5 名前も内容も知らない」が 29.5%で最も多く、次いで「3 名前も内容も知っているが、制度利用は考えていない。」が 28.0%、「4 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が 23.8%、「2 名前も内容も知っており、今後の制度利用を考えている。」が 5.4%、「1 制度利用している。」が 1.3%となっています。



問 40 この調査票の記入者はどなたですか。

「1 本人」が 73.8%で最も多く、次いで「3 同居の家族」が 11.3%、「2 父・母」が 9.0%、「5 その他」が 2.0%、「4 別居の家族」が 1.6%となっています。



●主な「その他」記入: ケアマネージャー/ホームヘルパー/職員、職員代行/グループホーム/友人/など

～ 【参考】平成12年、平成22年実施アンケート調査との比較 ～

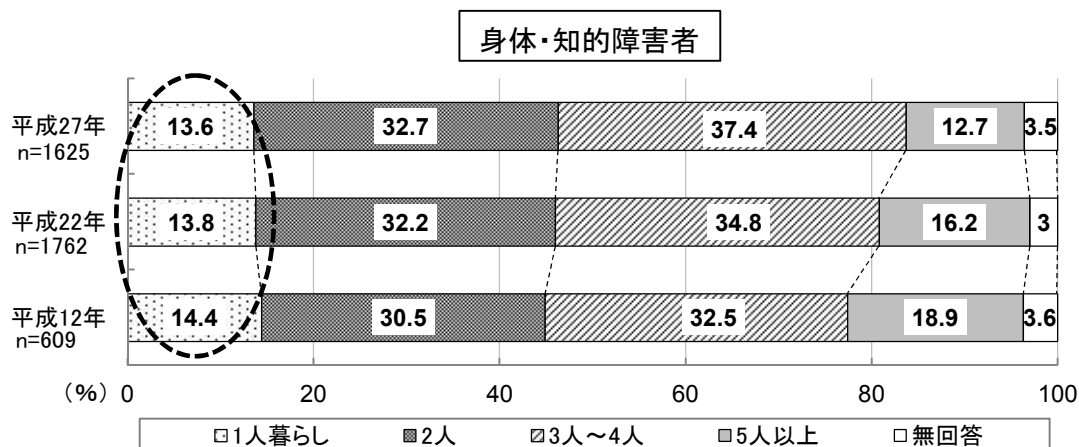
平成27年度のアンケート調査では、現状をより正確に把握するために、平成22年度の「当事者アンケート」内容を【当事者】、【当事者（子ども）】の2つに分けて実施しました。そのため、これまでの平成12年と平成22年の実施アンケート結果の比較の際には、【当事者】と【当事者（子ども）】の回答の合計値で比較しています。（問14 あなたは現在、働いていますか。の質問は【当事者】のみとなります）

(1) 回答者本人のことについて

【当事者】問3 あなたを含めて、あなたが一緒に住んでいる家族の人数は何人ですか。

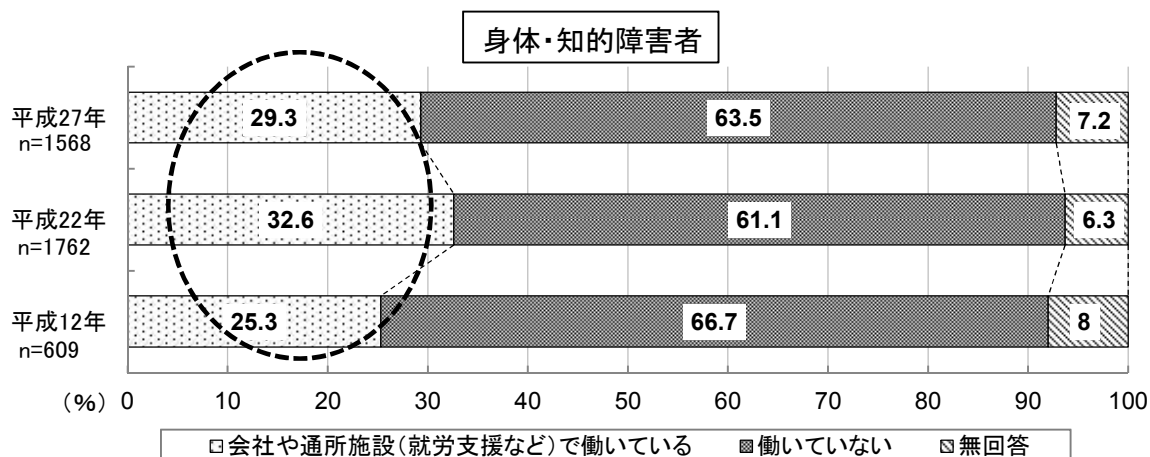
【当事者（子ども）】問3 お子さんを含めて、お子さんが一緒に住んでいる家族の人数は何人ですか。

身体・知的障害者では、「1人暮らし」が13.6%で、前回同様となっている。



【当事者】問14 あなたは現在、働いていますか。

身体・知的障害者では、「働いている（就労支援等など）」が29.3%で前回同様となっている。

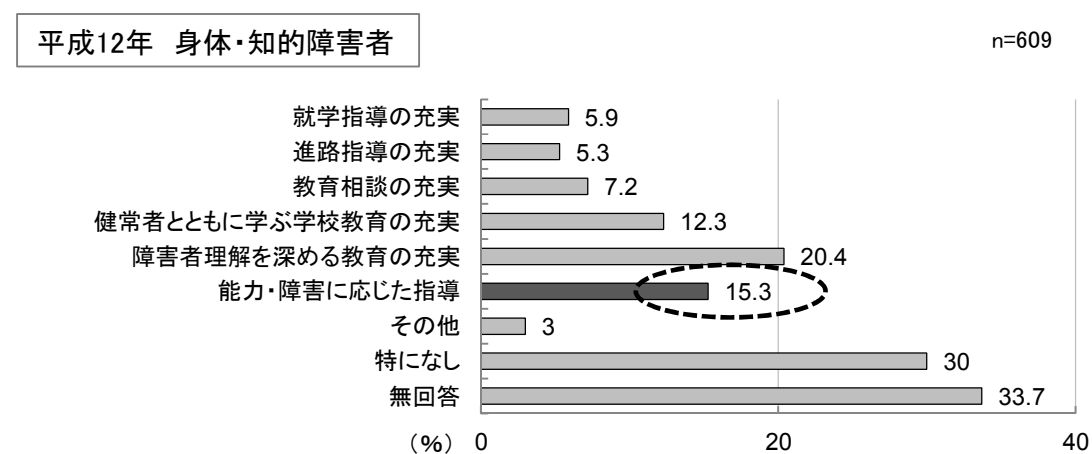
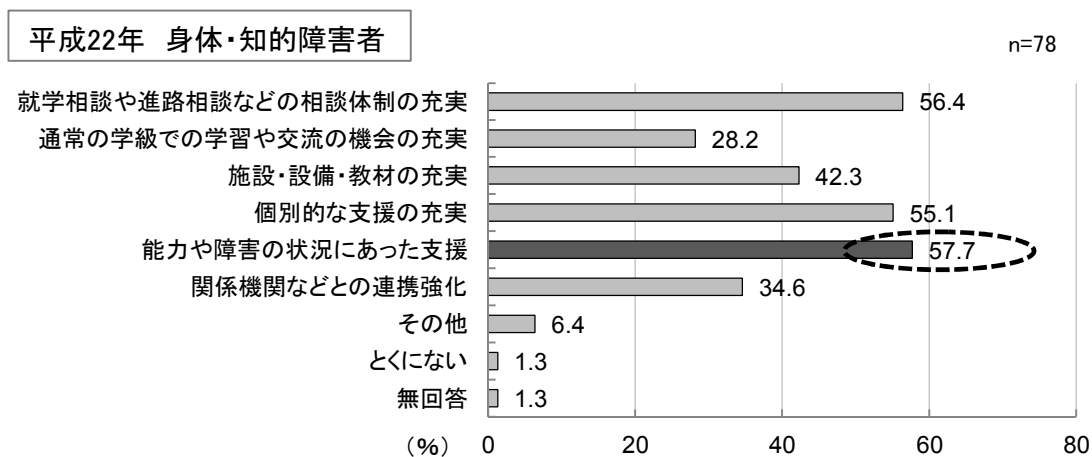
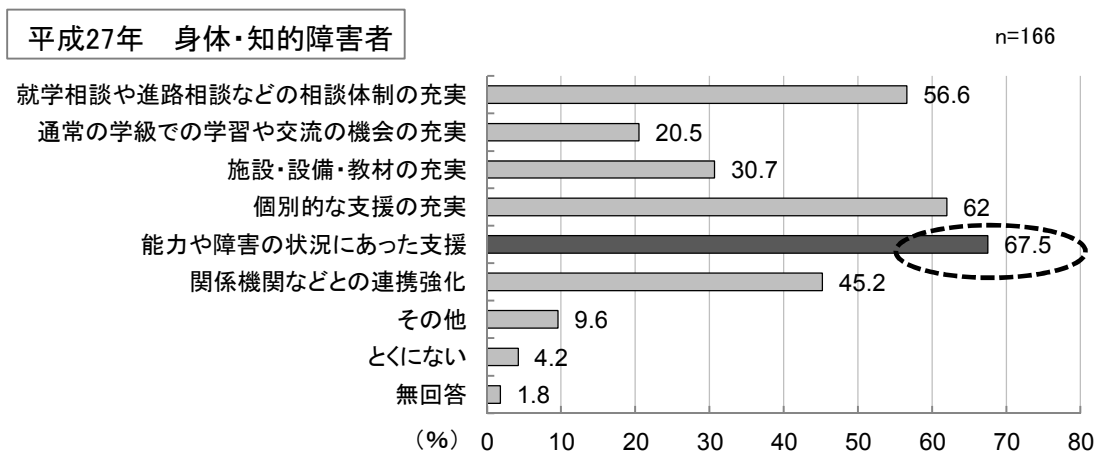


(1) 生活の状況について

【当事者】問 11-1 通学先に望むことはどのようなことですか。

【当事者（子ども）】問 12 通園・通学・通所先等に望むことはどのようなことですか。

平成 12 年とは個別の要望について比較することはできないが、身体・知的障害者では、相対的に能力・障害の状況にあった支援の要望は年々増加している。





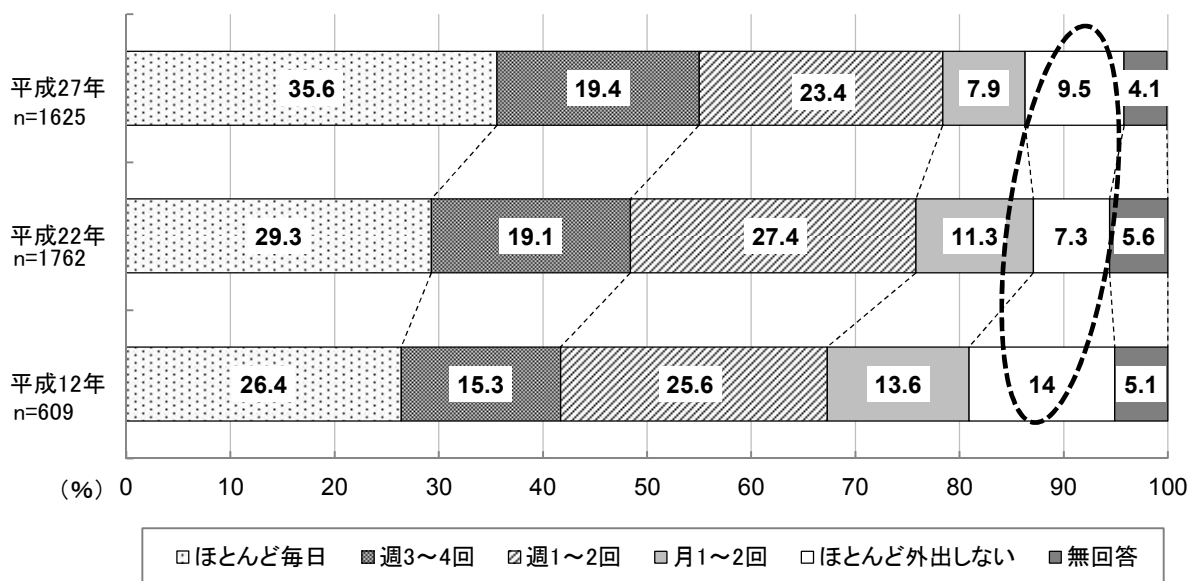
(3) 外出について

【当事者】問 23 あなたは、普段どのくらい外出しますか。

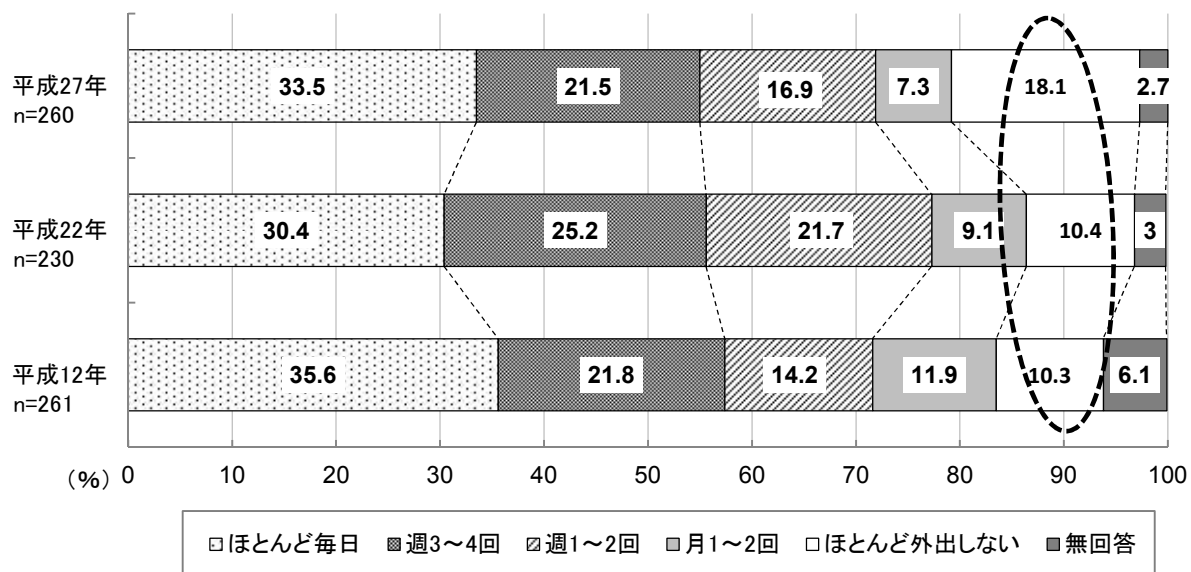
【当事者（子ども）】問 22 お子さんは、普段どのくらい外出しますか。

「ほとんど外出していない」が身体・知的障害者は平成12年から平成22年にかけて減少したが、平成27年になると再び増加し、精神障害者は平成22年の10.4%から二倍近い18.1%となっている。

身体・知的障害者



精神障害者

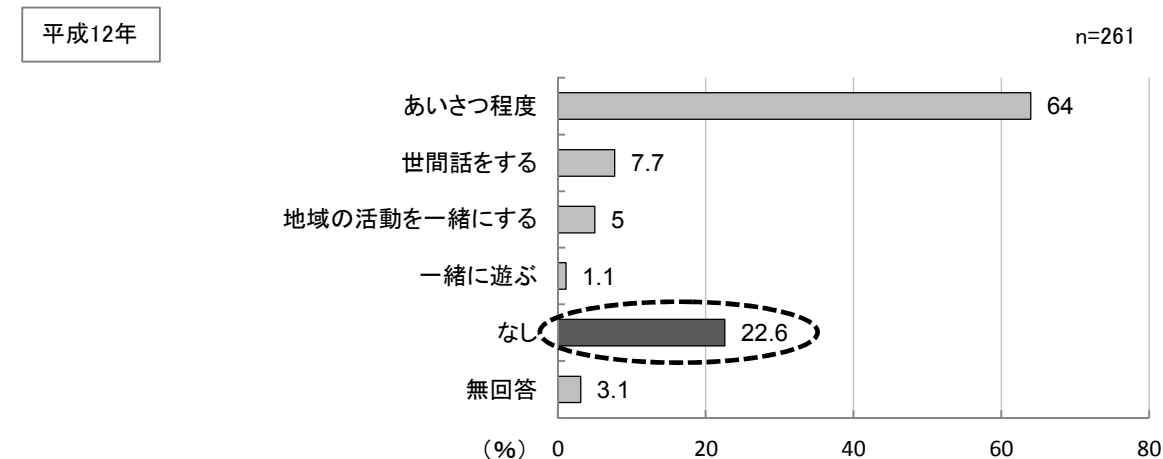
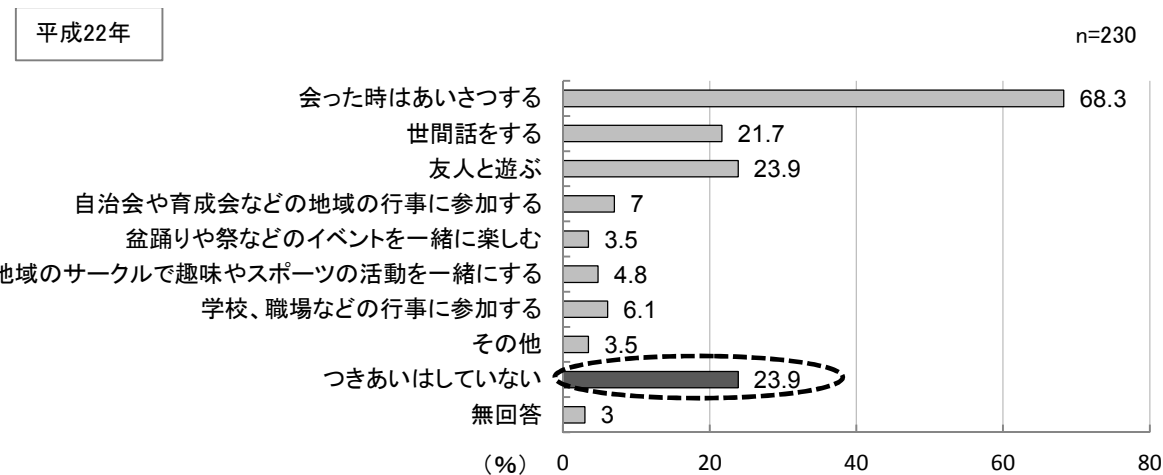
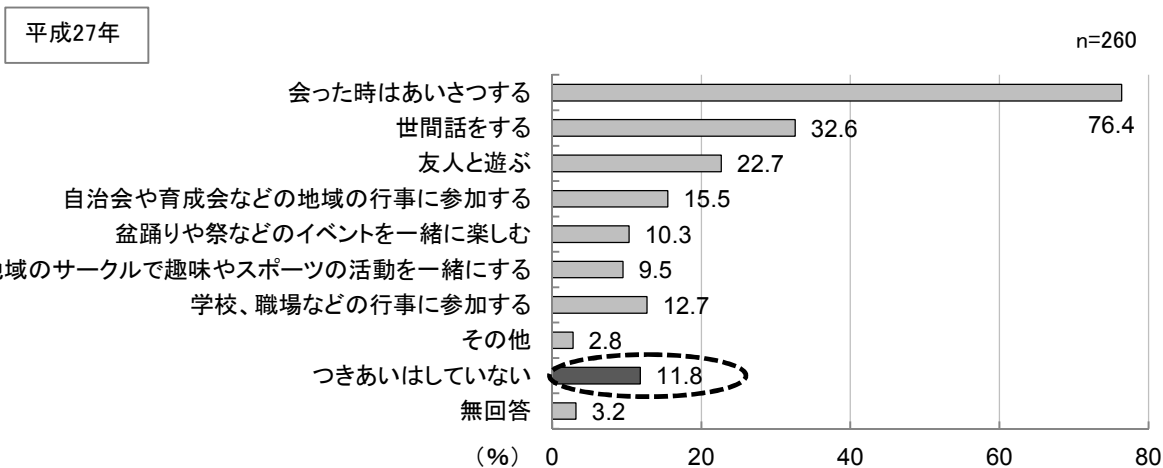


(4) 地域とのかかわりについて

【当事者】問 25 あなたは、ふだん地域の人とどのようなおつきあいをしていますか。

【当事者（子ども）】問 25 あなたは、お子さんとふだん地域の人とどのようなおつきあいをしていますか。

「ほとんど外出していない」が身体・知的障害者は平成 12 年から平成 22 年にかけて減少したが、平成 27 年になると再び増加し、精神障害者は平成 22 年の 10.4%から二倍近い 18.1%となっている。



## 長野市アンケート調査報告書

発行年月：平成 27 年 9 月

発 行：長野市

編 集：長野市役所 障害福祉課 企画管理担当

住 所：

電 話：026-224-5030